

1. 旭川医科大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較					
		新			旧		
医学部医学科の入学定員及び収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科、年度) (入学定員) (収容定員)			(学部、学科、年度) (入学定員) (収容定員)		
		医学部			医学部		
		医学科			医学科		
		平成22年度	112人	624人	平成22年度	102人	614人
		平成23年度	112人	646人	平成23年度	102人	626人
		平成24年度	112人	668人	平成24年度	102人	638人
		平成25年度	112人	690人	平成25年度	102人	650人
		平成26年度	112人	712人	平成26年度	102人	662人
		平成27年度	112人	722人	平成27年度	102人	662人
		平成28年度	112人	722人	平成28年度	102人	662人
		平成29年度	112人	722人	平成29年度	102人	662人
		平成30年度	105人	715人	平成30年度	95人	655人
		平成31年度	105人	708人	平成31年度	95人	648人
		平成32年度	95人	691人	平成32年度	95人	641人
		平成33年度	95人	674人	平成33年度	95人	634人
		平成34年度	95人	657人	平成34年度	95人	627人
		平成35年度	95人	640人	平成35年度以降	95人	620人
		平成36年度	95人	630人			
		平成37年度以降	95人	620人			

2. 東北大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較					
		新			旧		
入学定員の変更	平成21年 4 月 1 日	(学部、学科) (入学定員)			(学部、学科) (入学定員)		
		医学部			医学部		
		医学科 110人			医学科 100人		
		(研究科、課程、専攻) (入学定員)			(研究科、課程、専攻) (入学定員)		
		農学研究科			農学研究科		
		資源生物科学専攻	前期課程 36人		資源生物科学専攻	前期課程 35人	
			後期課程 13人			後期課程 17人	
		応用生命科学専攻	前期課程 35人		応用生命科学専攻	前期課程 34人	
			後期課程 13人			後期課程 16人	
		生物産業創成科学専攻	前期課程 38人		生物産業創成科学専攻	前期課程 28人	
			後期課程 11人			後期課程 13人	
		情報科学研究科			情報科学研究科		
		情報基礎科学専攻	前期課程 38人		情報基礎科学専攻	前期課程 31人	
			後期課程 11人			後期課程 15人	
		システム情報科学専攻	前期課程 37人		システム情報科学専攻	前期課程 30人	
			後期課程 11人			後期課程 14人	
		人間社会情報科学専攻	後期課程 10人		人間社会情報科学専攻	後期課程 14人	
		応用情報科学専攻	前期課程 35人		応用情報科学専攻	前期課程 29人	
			後期課程 10人			後期課程 14人	
収容定員の変更	平成21年 4 月 1 日	(学部) (収容定員)			(学部) (収容定員)		
		医学部 1,218人			医学部 1,208人		
		(うち医師養成に係る分野610人)			(うち医師養成に係る分野600人)		
		(研究科) (収容定員)			(研究科) (収容定員)		
		教育学研究科 142人			教育学研究科 141人		
			うち前期課程 86人			うち前期課程 83人	
			後期課程 56人			後期課程 58人	
		医学系研究科 746人			医学系研究科 717人		
			うち前期課程 56人			うち前期課程 56人	
			後期課程 34人			後期課程 35人	
			修士課程 108人			修士課程 64人	
			博士課程 548人			博士課程 562人	
		工学研究科 1,837人			工学研究科 1,842人		
			うち前期課程 1,272人			うち前期課程 1,234人	
			後期課程 565人			後期課程 608人	
		農学研究科 335人			農学研究科 332人		
			うち前期課程 206人			うち前期課程 194人	
			後期課程 129人			後期課程 138人	

		情報科学研究科 416人 うち前期課程 260人 後期課程 156人 医工学研究科 82人 うち前期課程 62人 後期課程 20人	情報科学研究科 411人 うち前期課程 240人 後期課程 171人 医工学研究科 41人 うち前期課程 31人 後期課程 10人
研究科の改組	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻、課程) (入学定員) (収容定員) 医学系研究科 保健学専攻 (後期課程) 10人 10人 薬学研究科 創薬化学専攻 (前期課程) 募集停止 22人 医療薬科学専攻 (前期課程) 募集停止 19人 生命薬学専攻 (前期課程) 募集停止 16人 分子薬科学専攻 (修士課程) 22人 22人 生命薬科学専攻 (修士課程) 32人 32人	(研究科、専攻、課程) (入学定員) (収容定員) 薬学研究科 創薬化学専攻 (前期課程) 22人 44人 医療薬科学専攻 (前期課程) 19人 38人 生命薬学専攻 (前期課程) 16人 32人
入学定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科) (入学定員) 医学部 医学科 119人 (研究科、専攻、課程) 法学研究科 総合法制専攻 (専門職課程) 80人 環境科学研究科 環境科学専攻 (前期課程) 85人 環境科学専攻 (後期課程) 27人	(学部、学科) (入学定員) 医学部 医学科 110人 (研究科、専攻、課程) 法学研究科 総合法制専攻 (専門職課程) 100人 環境科学研究科 環境科学専攻 (前期課程) 65人 環境科学専攻 (後期課程) 32人
収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部) (収容定員) 医学部 1,237人 (うち医師養成に係る分野629人) 薬学部 340人 (研究科) (収容定員) 教育学研究科 140人 うち前期課程 86人 後期課程 54人 法学研究科 440人 うち前期課程 40人 後期課程 60人 法科大学院課程 280人 専門職学位課程 60人 医学系研究科 761人 うち前期課程 104人 後期課程 43人 修士課程 80人 博士課程 534人 薬学研究科 189人 うち前期課程 57人 後期課程 78人 修士課程 54人 工学研究科 1,749人 うち前期課程 1,272人 後期課程 522人 農学研究科 338人 うち前期課程 218人 後期課程 120人 情報科学研究科 421人 うち前期課程 280人 後期課程 141人 環境科学研究科 241人 うち前期課程 150人 後期課程 91人 医工学研究科 92人 うち前期課程 62人 後期課程 30人	(学部) (収容定員) 医学部 1,218人 (うち医師養成に係る分野610人) 薬学部 320人 (研究科) (収容定員) 教育学研究科 142人 うち前期課程 86人 後期課程 56人 法学研究科 460人 うち前期課程 40人 後期課程 60人 法科大学院課程 300人 専門職学位課程 60人 医学系研究科 746人 うち前期課程 56人 後期課程 34人 修士課程 108人 博士課程 548人 薬学研究科 192人 うち前期課程 114人 後期課程 78人 工学研究科 1,837人 うち前期課程 1,272人 後期課程 565人 農学研究科 335人 うち前期課程 206人 後期課程 129人 情報科学研究科 416人 うち前期課程 260人 後期課程 156人 環境科学研究科 226人 うち前期課程 130人 後期課程 96人 医工学研究科 82人 うち前期課程 62人 後期課程 20人

3. 千葉大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
第2期（平成22～27年度）の中期目標が文部科学大臣から提示されたことに伴う「大学の教育・管理運営等に関する目標」の変更	平成22年4月1日	大学の教育・管理運営等に関する目標 1. 教育の実施体制等に関する目標 1) ～ 3) (略) (削除) (削除) 4) 学部・研究科（学府）の教育実施体制の計画的な整備・充実により、大学全体として、教育の質の向上を目指す。 5) カリキュラムや教育方法の改善、教員の職能開発を推進し、教育の継続的改善を目指す。 2. 教育内容・成果等に関する目標 〈学部教育〉 1) ～ 3) (略) (削除) 4) 学士課程教育においては、自己を知り、他人を思いやる心を持ち、問題の本質に迫ることのできる人材、グローバルな視野を持ち世界をリードする人材、サステナブル社会形成に貢献できる人材の育成を目指す。 〈大学院教育〉 5) 各研究科（学府）は、急速に変化する社会のニーズと学術の動向を踏まえたアドミッション・ポリシーを明確に示すとともに、多様な入学選抜方法を検討・導入する。また、教育研究の国際化・多様化を推進するため、留学生及び社会人を積極的に受け入れる。 6) 従来の研究者養成に加え、法科大学院等による高度専門職業人の養成を始めとする社会のニーズに対応するため、学生の進路の多様化に配慮したカリキュラムの編成及び弾力的な履修の実現を目指す。 (削除) (削除) 7) 修士課程(博士前期課程)においては、博士課程(博士後期課程)の前段教育として研究者の芽を育むとともに、専門性を十分に発揮し社会をリードする高度専門職業人の養成を目指す。また、社会人再教育及び生涯学習のニーズにも対応する課程とする。博士課程(博士後期課程)においては、国際的発信能力を有し、国際レベルの研究拠点を形成できる研究者及び先端的分野の開拓・発展を担う高度専門職業人の養成を目指す。 〈学部・大学院教育共通〉 1) 学生がより高い学習成果を獲得できるよう、学位授与の方針を明確にし、体系的な教育課程の編成を行い、教育の質の保証を行う。 2) 学生が能動的に参加する授業を充実させるとともに、情報化技術を応用した教育方法の開発と充実を目指す。 3. 学生への支援に関する目標 1) ～ 4) (略) 5) 留学生の生活と学習を支援するために、施設整備を進め、相談体制を整備するとともに、支援内容を充実させる。 4. 財務に関する目標 1) ～ 3) (略) 5. 管理運営等に関する目標 1) (略) (削除) 2) 大学院の高度化、学部の充実及び学際的文理融合型の教育研究を推進するため、教育研究組織の柔軟な再編を目指す。 3) 教職員が各自の個性及び能力を生かし得る人事システムの構築を目指す。 (削除) 4) 「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)において示された総人件費改革の実行計画を踏まえ、人件費削減の取組を行う。 5) 事務の内容や量の変化等に応じた適切な人員配置や外部の専門的能力の活用等により、柔軟な事務処理体制を構築するとともに、事務の集中化、電算化を促進し、業務の簡素化、迅速化を目指す。 6) スタッフ・ディベロップメント(SD)を強化、充実し、専門的知識及び業務遂行能力の向上を図るとともに、業務の効率化・合理化を推進する。 7) 全学の自己点検・評価システムを充実発展させ、教育研究活動の更なる活発化を目指す。 8) 大学における教育研究活動の公開性、透明性を確保し、開かれた大学の実現を目指す。	大学の教育・管理運営等に関する目標 1. 教育の実施体制等に関する目標 1) ～ 3) (略) 4) 教育面における他機関との連携を強化し、本学の教育の充実に資するとともに、全国共同教育を積極的に推進して、広く我が国の教育水準の向上に貢献する。 5) 総合大学である本学の特色を有効に活用し、学内共同教育を積極的に推進するため、学内共同利用教育施設等の機能を充実させ、大学全体として、教育の高度化・活性化を目指す。 6) 学部・研究科（学府）の教育実施体制の計画的な整備・充実により、大学全体として、教育の質の向上を目指す。 2. 教育内容・成果等に関する目標 〈学部教育〉 1) ～ 3) (略) 4) 国際的に共有可能、かつ社会的に説明可能な、透明度の高い成績評価を実施する。 5) 時代にふさわしい高い専門性と総合的判断力を持ち、国際化・情報化の進んだ社会の一員として、創造的に、しかも信念をもって行動する人材の養成を目的とし、教養教育の充実を図るとともに、各学部・学科等における専門教育の質を一層向上させ、広く深い知性と高い倫理性を備えた職業人の育成並びに大学院進学を志向する学生の養成を目指す。 〈大学院教育〉 6) 各研究科（学府）は、急速に変化する社会のニーズと学術の動向を踏まえたアドミッション・ポリシーを明確に示すとともに、多様な入学選抜方法を検討・導入する。また、教育研究の国際化・多様化を推進するため、留学生及び社会人を積極的に受け入れる。 7) 従来の研究者養成に加え、法科大学院等による高度専門職業人の養成を始めとする社会のニーズに対応するため、学生の進路の多様化に配慮したカリキュラムの編成及び弾力的な履修の実現を目指す。 8) 独創的、先端的研究の成果を十分に反映した教育の実施を目指す。 9) 国際的に共有可能、かつ社会的に説明可能な成績評価を実施する。 10) 修士課程(博士前期課程)においては、博士課程(博士後期課程)の前段教育として研究者の芽を育むとともに、専門性を十分に発揮し社会をリードする高度専門職業人の養成を目指す。また、社会人再教育及び生涯学習のニーズにも対応する課程とする。博士課程(博士後期課程)においては、国際的発信能力を有し、国際レベルの研究拠点を形成できる研究者及び先端的分野の開拓・発展を担う高度専門職業人の養成を目指す。 3. 学生への支援に関する目標 1) ～ 4) (略) 4. 財務に関する目標 1) ～ 3) (略) 5. 管理運営等に関する目標 1) (略) 2) 経営戦略を確実に実践するため、適正な評価に基づく効果的な学内資源配分の実現を目指す。 3) 大学院の高度化、学部の充実及び学際的文理融合型の教育研究を推進するため、教育研究組織の柔軟な再編を目指す。 4) 教職員が各自の個性及び能力を生かし得る人事システムの構築を目指す。 5) 教育研究業績又は業務運営上の実績を適正に反映し、インセンティブを付与するシステムの導入を目指す。 6) 「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)において示された総人件費改革の実行計画を踏まえ、人件費削減の取組を行う。 7) 事務の内容や量の変化等に応じた適切な人員配置や外部の専門的能力の活用等により、柔軟な事務処理体制を構築するとともに、事務の集中化、電算化を促進し、業務の簡素化、迅速化を目指す。 8) 全学の自己点検・評価システムを充実発展させ、教育研究活動の更なる活発化を目指す。 9) 大学における教育研究活動の公開性、透明性を確保し、開かれた大学の実現を目指す。

医学薬学府の改組及び入学定員・収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻) (入学定員) (収容定員) 医学薬学府 医科学専攻 27人 54人 総合薬品科学専攻 50人 100人 (廃止) — — 先端生命科学専攻 37人 148人	(研究科、専攻) (入学定員) (収容定員) 医学薬学府 医科学専攻 20人 40人 総合薬品科学専攻 45人 90人 医療薬学専攻 22人 44人 先端生命科学専攻 52人 208人
専門法務研究科における入学定員及び収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻) (入学定員) (収容定員) 専門法務研究科 法務専攻 40人 120人	(研究科、専攻) (入学定員) (収容定員) 専門法務研究科 法務専攻 50人 150人
医学部における入学定員及び収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科) (入学定員) (3 年次編入) (収容定員) 医学部 医学科 110人 5 人 680人	(学部、学科) (入学定員) (3 年次編入) (収容定員) 医学部 医学科 105人 5 人 650人
千葉大学入学者受入れ方針の変更	平成22年 3 月19日	【千葉大学入学者受入れの方針】 千葉大学の求める入学者 千葉大学は、総合大学として多様な研究・教育組織から構成されており、その知的環境を十分に利用して、問題解決能力を培い、創造的能力を育み、自発的な精神を養い、社会と文化の発展とともに、人類の平和と地球環境の保全に貢献する人材の養成をめざしています。 千葉大学は『つねに、より高きものをめざして』の理念のもと、次のような向上心あふれる学生の入学を求めています。 ・現代社会を生きていく人間として欠くことのできない国際的、倫理的、知的な素養を備え、さらに向上させていこうとする熱意を持つ人 ・本学での修学について強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探求し、問題解決の能力を高めていこうとする意欲を持つ人 ・本学入学後の修学に必要な基礎学力として十分な知識・実技能力を持つ人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 基礎学力としての十分な知識と共に、他の人との関わり合いの中でコミュニケーション能力を身につけてください。 さらに広く社会に目を向け幅広い知識を養い、豊かな人間性と社会や学問に対する強い好奇心を高めてください。 これらは、本学に入学してから知識・技能を生かす底力となるでしょう。	千葉大学は、総合大学ならではの知的環境の中で、問題解決能力を培い、創造的能力を育み、社会奉仕の精神を養い、社会文化の高揚とともに人類の平和と地球環境の保全に貢献する人材の養成をめざしています。そのために、千葉大学は、次のような人の入学を求めています。 ・現代の社会で生きていく人間としての国際的、倫理的、知的な素養を向上させていこうとする熱意のある人 ・大学での学修について強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探究し、その解決の能力を高めていこうとする意欲を持つ人
文学部及び同学部各学科入学者受入れ方針の変更	平成21年10月 8 日	【文学部入学者受入れの方針】 文学部の求める入学者 文学部では、人間という計りきれない存在を、行動、社会、歴史、言語、文化、芸術などの諸側面について様々な視点や方法を用いて学問的に追求し探ることで、自己を知り、世界を知り、自己と世界の関係について学び、自分の生きていく方向や自分を託す世界の進み方、自己と世界との関係の作り方を模索することを目標としています。 そうした学問的な営みを通じて、21世紀に対応した知識と技能を持ち、狭い学問領域にとらわれない人文科学的素養を身につけ、独創的発信力をもって社会に貢献することで自らの人生をより豊かなものにできる人材を養成します。 文学部では、このような人材を養成するために、日本語・外国語の運用能力、論理的・数理的思考能力、日本と世界の歴史・文化・社会に関する広い関心を持った人を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 日本と世界のさまざまな事柄に対する広い関心や強い好奇心は基礎学力を身に付けるための動機となるものです。また、日本語と外国語は、文法や語彙の勉強だけでなく、実際に使われていることばの観察によって言語感覚を磨くことが大切です。さらに、各教科科目の学習やさまざまな事柄に対して、自ら疑問点や問題点を見つけ、それらを解決し、他の人に説得的に説明しようとする態度を身につけることが望まれます。 【行動科学科入学者受入れの方針】 行動科学科の求める入学者 ・論理的な思考能力を備えた人。 ・人間の思考や行動、社会や文化に対する広い関心を持ち、個性的な発想のできる人。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 読解力（国語・外国語）と数学を中心に、地歴・公民・理科にわたる幅広い基礎学力を身に付けてください。また人間の思考や行動、現代の社会や多様な文化に対する関心を深め、関連の書籍を読むなど、自ら積極的に探求する姿勢を身に付けてください。 【史学科入学者受入れの方針】 史学科の求める入学者 史学科では、特定の個別事象的な問題関心だけではなく、日本・世界の歴史に関わる事象について深く・広く、そして客観的に考えようとする学生諸君の入学を切に求めます。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 史学科では、高校までの教科書で学んだ歴史認識を踏まえ	文学部の求める入学者 21世紀に対応した知識と技能を持ち、狭い学問領域にとらわれない人文科学的素養を身につけ、独創的発信力をもって社会に貢献することで自らの人生をより豊かなものにできる人材を養成するために、日本語・外国語の運用能力、論理的・数理的思考能力、日本と世界の歴史・文化・社会に関する広い関心を持った人を求めています。 行動科学科…論理的・数理的思考能力、言語能力を重視し、広い関心を持ち個性的な発想をもつ多様な人 史学科…「文字・モノ・イメージ」などの史資料を用いて、自己の歴史主題を世界史的な視野に立って考察する人 日本文化学科…日本語及び外国語の能力を備え、日本とユーラシア世界に関する興味と知識を有する人 国際言語文化学科…外国の言語と文化に強い関心を持ち、外国語を習得して異文化の多様性を学ぼうとするしっかりした意欲をもつ人

		てより高い理解と研究を目指していますが、その前提に基礎的な知識と教養が最低限必要なことはいうまでもありません。特定の分野だけではなく幅広い教養と知識を基礎体力として学習しておいて欲しいと思います。 【日本文化学科入学者受入れの方針】 日本文化学科の求める入学者 本学科の修学に必要な基礎学力を持ち、日本の多様性および周辺地域の言語や文化に強い好奇心と関心を持ち、問題意識を持って自発的に探求できる人を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 日本文化学科では、学生は広範な学問分野を知る機会に恵まれており、その中から自分の興味・関心に従って専門を選んでいくことが出来ます。したがって、日本文化学科での修学を乗り切れるものとするには、総合的な基礎学力を確かなものにしておく必要があります。特に、入学までに国語（現代文、古文、漢文）はもちろんのこと、日本および周辺地域の歴史・地理や文化についても関連性を考えながら学んでほしいと思います。また外国語はさまざまな学問領域で必要なため、異文化に対する関心も合わせて、学習することが望まれます。 【国際言語文化学科入学者受入れの方針】 国際言語文化学科の求める入学者 本学科では、外国の言語・文学・文化に対して強い関心を持ち、総合的な基礎学力を備え、外国語の高度な運用能力を習得して文化の多様性を学ぼうとする確固とした熱意と意欲をもつ人を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 高等学校段階で学ぶ主要教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語）についての幅広い基礎学力を確実に身に付け、さらに、 ・自身の考えを論理的にまとめ、的確な日本語で表現する能力 ・外国語で書かれたまとまった内容の長文を正確に読み取る能力 ・世界の出来事に対して関心を持ち、日本及び世界諸地域の地理・歴史・文化について理解しようとする態度などをできるだけ身に付けておくことが望ましい。	
教育学部及び同学部各課程入学者受入れ方針の変更	平成21年10月 8 日	【教育学部入学者受入れの方針】 教育学部の求める入学者 教育学部は7つの課程から構成されており、多様な教育領域を学ぶ環境の中で、教育に関わる実践力を育成することをめざし、次のような入学者を求めています。 ・学校や家庭や地域をめぐる教育上の諸問題に広範な関心を持ち、他者と積極的に交流することができ、学ぶことや活動することを喜び、そして新しい可能性を自己並びに他者に示す努力をいとわない人 ・将来教師となって他者を教え、育てる中で自分も学ぶ姿勢を持ち続けることのできる人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 課程・分野・選修の特性に応じた内容を学ぶことが求められます。さらに、幅広い知識と教養そしてコミュニケーション能力を身に付けることが資質として求められます。そのため、特定の領域に限定することなく、広範な領域の内容に興味を持つとともに、さまざまな活動を経験することが重要となります。 【小学校教員養成課程入学者受入れの方針】 小学校教員養成課程の求める入学者 ・小学校教員をめざす強い意志を持ち、そのための知識・技能の習得に努力を惜しまない人 ・周囲と協力しながら積極的に問題解決に当たることのできる人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 教育や社会の諸問題に常に関心を持っておくことが重要です。また、他の人が伝えようとする内容を理解し、自分の考えを分かりやすく相手に伝える能力を養っておくことが大切です。 学習面では、文系・理系の科目を問わず幅広い基礎力を身に付けてください。 【中学校教員養成課程入学者受入れの方針】 中学校教員養成課程の求める入学者 ・中学校教員になりたいという強い意欲を持っている人 ・高等学校卒業程度の基礎学力を有するとともに、これから学ぼうとする教科あるいは専門領域（13教育分野）に対して適性を有する人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと これから学ぼうとする教育分野に関連する教科・科目のみならず、大学が指定する大学入試センター試験の科目を勉強すること。また、さまざまな活動を経験し、コミュニケーション能力を身に付けることも大切です。自分が今までに学んだり経験したりしてきたことを、教師になって活用できるよう、広くものごとに目を向け、その本質や価値を把握しようとする資質（学ぶ意欲や姿勢）を養ってください。	教育学部の求める入学者 変化の激しい現代社会にあって、学校や家庭をめぐる教育上の諸問題に広範な関心を持ち、他者と積極的に交流することができ、新しい可能性を自己並びに他者に示す努力を厭わない人。 また、将来教師となって他者を教え、育てる中で自分も学ぶ姿勢を持ちつづけることのできる人を求めています。 小学校教員養成課程…小学校教育への関心と広範な基礎学力を持ち、主体的な問題解決や協働的な目標実現に強い意欲のある人 中学校教員養成課程…中学校教育並びに各教科への関心と学習能力を持ち、厭うことなく他者との議論、交流に意欲的に参加できる人 養護学校教員養成課程…子ども一人ひとりのニーズを大切にする教育の原点である特別支援教育に、強い関心と意欲のある人 幼稚園教員養成課程…日頃より幼児に対して強い関心を持ち、広い視野でものごとを見るときともに、柔軟な思考のできる人 養護教諭養成課程…養護教諭の活動への関心と意欲を持ち、健康に関わる事項についての論理的な思考力を備えている人 スポーツ科学課程…スポーツに関わる事象に対して多角的な関心を持ち、体験を通じた学習形態に積極的に取り組める人 生涯教育課程…教育と文化と地域を、さまざまな人とのつながりのなかから生き生きと結びつけて深く考え、新たな創造意欲を持つ人

		【特別支援教育教員養成課程入学者受入れの方針】 特別支援教育教員養成課程の求める入学者 特別支援教育教員養成課程は、特別な支援を必要とする子どもの教育を実践できる人材の育成をめざし、次のような入学者を求めています。 ・特別な支援を必要とする子どもに関心を持ち、子どもたちと交わる中で喜びを見出そうとする人 ・将来、特別支援学校、通常学校等において、特別な支援を必要とする子どものための教育職に就き、子どもたちと共に歩み、学んでいこうとする人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 特別支援学校（学級）教員の実際の仕事は、通常学校の教員とは大きく異なります。特別な支援を必要とする子どもたちとの関わりの中から学ぶ意欲を持つことが大切です。 【幼稚園教員養成課程入学者受入れの方針】 幼稚園教員養成課程の求める入学者 国立総合大学唯一の幼稚園教員養成課程として、将来の日本の幼児教育を担う指導的な幼稚園教員の養成をめざし、次のような入学者を求めています。 ・日頃より幼児教育に対して強い関心を持ち、幼稚園教員となる上で、十分な学力や知識を持ち、理解力、判断力に優れ、広い視野でものごとを見るときに柔軟な思考のできる人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 将来幼稚園教員として専門的な役割を果たす上で、基本的な社会的知識や教養を身に付けていることが必要です。幅広くものごとに関心を持ち、積極的に学ぶ姿勢が重要です。そのためにも、幅広い領域に関して読書する習慣を身に付けてください。 また自分の考えや思いを丁寧に、きちんと表現し、他者に伝えること、同時に他者の表現をしっかりと受け止め理解することが大切です。 【養護教諭養成課程入学者受入れの方針】 養護教諭課程の求める入学者 ・子どもの心身の健康問題や養護活動への関心と意欲を持つことができる人 ・子どもの心身の健康問題や養護活動への関心と意欲を人との関わりの中で表現できる人 ・将来養護教諭となって子どもの健康と成長を支援できる人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 基礎学力としての十分な知識（特に「生物」の知識は入学後の修学に必要です。）とともに、人のかかわりが多くを占める養護教諭の職務に備え、さまざまな活動や体験を通して豊かな感性と柔軟なものの見方、コミュニケーション能力を身に付けることが大切です。 【スポーツ科学課程入学者受入れの方針】 スポーツ科学課程の求める入学者 スポーツ科学課程は、社会や時代の要求に応えられる幅広い資質を備えたスポーツの指導者・研究者の育成をめざし、次のような入学者を求めています。 ・スポーツに関わる事象に対して多角的な関心を持ち、体験を通した学習形態に積極的に取り組める人 ・自らのスポーツ活動等を通して問題意識を持ち、様々な問題を主体的に解決してゆく意欲と能力を持つ人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと スポーツに関する幅広い知識と問題意識を持ち、特に意見や興味異なる人たちに対しても主体的・積極的にコミュニケーションできる能力を身に付けることが求められます。そのためスポーツ実技に限定することなく、文系・理系を問わず広範な領域の内容を学習してください。 【生涯教育課程入学者受入れの方針】 生涯教育課程の求める入学者 ・生涯学習や社会教育と結びつけた形で学校教育を考えていこうとする人 ・地域づくりや文化形成、国際異文化理解と交流を推進することのできる豊かな実践力と判断力を備えた人 ・子どもや高齢者を含めた新しい地域社会と文化づくりのコーディネーターになろうとする人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 地域でのさまざまな街づくりや市民活動、学校と地域をつなげる活動に対して主体的な関心を持ち、できれば、それらの活動に参加して経験を蓄積することが大切です。 また、現代社会に対する深い関心を持ちながら幅広い教養を身に付けるような学習を進め、自ら関心のあるテーマについて進んで学習調査するような態度を養うことが大切です。	
法経学部及び同学部各学科入学者受入れ方針の変更	平成21年9月9日	【法経学部入学者受入れの方針】 法経学部の求める入学者 法経学部では、複雑な現代社会に次々と発生する社会的諸問題を社会科学の視野で把握し、批判的・創造的見地から分析しうる人材を養成することを目指しています。その基礎として、知識それ自体よりも、知識を獲得する能力としての読解力・資料解析力、収集した事実をもとに展開する論理的思考力、その結果を的確にまとめ公表できる文章表現力とプレゼンテーション力を持つ人を求めています。 本学部は、法学科、経済学科、総合政策学科の3学科からなっています。各学科が求める入学者として共通するのは次のような人です。 ●国内外の社会に生起するさまざまな問題を分析し、その解	法経学部の求める入学者 法経学部では、複雑な現代社会に次々と発生する社会的諸問題を社会科学の視野で把握し、批判的・創造的見地から分析しうる人材を養成する。その基礎として、知識それ自体よりも、知識を獲得する能力としての読解力・資料解析力、収集した事実をもとに展開する論理的思考力、その結果を文章にまとめる表現力を持つ人を求めています。 法学科…創造的かつ論理的な思考能力を持ち、高い倫理性と思いやりの心を持って社会の現実に取り組もうとする人 経済学科…変動する経済社会の効率と公正に関する問題を、自ら発見し、分析し、解決策を見出していこうとする意欲を持つ

		決方法を立案するために必要となる専門的知識を身につけて、社会に貢献したいと考えている人 ●本学部での修学に強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探究し、問題解決の能力を高めていこうとする意欲を持つ人 ●入学後の修学に必要な基礎学力を有している人 千葉大学入学までに身につけて欲しいこと 学生が社会で活躍するための素養を修得できるよう、本学部は人間・社会・世界・環境のかかわりを専門的かつ総合的に扱います。したがって、広範で多様な学問分野の専門科目を学習することが求められます。どのような分野の専門科目を学習するにしても、国語と英語の知識が不可欠です。また現代の社会を理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識も必要となります。加えて経済学科の全ての学生と法学科・総合政策学科の一部の学生は、数学の知識を前提とした授業を履修することが求められます。また、環境問題や技術革新の社会的影響といった事象を学んでいく上で不可欠な教養として、理科の基礎的な知識を身につけておくことも望まれます。 【法学科入学者受入れの方針】 法学科の求める入学者 法学科では、法経学部の求める入学者として示す項目を前提とした上で、創造的かつ論理的な思考能力を持ち、高い倫理性と思いやりの心を持って社会の現実に取り組もうとする人を求めています。 千葉大学入学までに身につけて欲しいこと 法経学部入学者受入れの方針で示されているように、入学までに、国語、英語、地理歴史・公民、数学、理科の基礎学力をつけることが必要です。 【経済学科入学者受入れの方針】 経済学科の求める入学者 経済学科では、法経学部の求める入学者として示す項目を前提とした上で、変動する経済社会に発生する効率や公正などに関する諸問題を、自ら発見し、分析し、解決策を見出し、いこうとする意欲を持つ人を求めています。 千葉大学入学までに身につけて欲しいこと 法経学部入学者受入れの方針で示されているように、入学までに、国語、英語、地理歴史・公民、数学、理科の基礎学力をつけることが必要です。 【総合政策学科入学者受入れの方針】 総合政策学科の求める入学者 総合政策学科では、法経学部の求める入学者として示す項目を前提とした上で、複雑な現代社会に関心を持ち、社会の病理に対し具体的な解決策を考え実施しようとする積極性を持つ人を求めています。 千葉大学入学までに身につけて欲しいこと 法経学部入学者受入れの方針で示されているように、入学までに、国語、英語、地理歴史・公民、数学、理科の基礎学力をつけることが必要です。	人 総合政策学科…複雑な現代社会に関心を持ち、社会の病理に対し具体的な解決策を考え実施しようとする積極性を持つ人
理学部及び同学部各学科入学者受入れ方針の変更	平成22年 1 月28日	【理学部入学者受入れの方針】 理学部の求める入学者 理学とは宇宙、地球、生命、物質など、私たちがとりまく自然の謎を解き明かし、人類の英知を高めると同時に、広く社会の進歩に貢献することを目指す学問です。そのために千葉大学理学部は次のような人の入学を求めています。 1. 自然界の不思議に関心を持ち、それらを解明したいと思っている人 2. 理科や数学に魅力を感じ、もっと学びたいと思っている人 3. 自然科学を勉強し、社会の様々な分野で貢献したいと思っている人 さらに学問を究めるため大学院を目指すことも期待します。 千葉大学入学までに身につけて欲しいこと 進学する学科に関わる科目の十分な知識に加えて、それ以外の理科や数学の知識も基礎学力として広く身につけてください。 また、論理的な文章を書くことのできる日本語力やコミュニケーション能力、さらには英語の読み書きと会話の能力も身につけてきてください。 【数学・情報数理学科入学者受入れの方針】 数学・情報数理学科の求める入学者 数学や数理的な情報科学が好きな人、数学的思考によって自らの価値を高め、社会の諸分野での活躍を目指す人を募集しています。 千葉大学入学までに身につけて欲しいこと 入試に課した科目のほかに、物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱ、地学Ⅱのうち2科目以上を履修することが望ましい。	理学部の求める入学者 理学とは宇宙、地球、生命、物質など、私たちがとりまく自然の謎を解き明かし、人類の英知を高めると同時に、広く社会の進歩に貢献することを目指す学問です。そのために千葉大学理学部は次のような人の入学を求めています。 1. 自然界の不思議に関心を持ち、それらを解明したいと思っている人 2. 理科や数学に魅力を感じ、もっと学びたいと思っている人 3. 自然科学を勉強し、社会の様々な分野で貢献したいと思っている人 さらに学問を深めるため大学院を目指すことも期待します。これらに加えて、各学科ではさらに以下のような人を求めています。 数学・情報数理学科…数学の世界に美を感じられる人、数学的思考によって自らの価値を高め、社会の諸分野での活躍を目指す人 物理学科…物理に興味をもち、自然の仕組みの解明に意欲を持っている人、物理を学んで社会の諸分野で活躍しようと思っている人 化学科…総合的基礎学力を備え、創造性とリーダーシップに富み、化学における高い専門性と幅広い教養を身に付け、国際社会に貢献する意欲ある人 生物学科…生命活動やその多様性に強い興味を持ち、得られた知識を基礎に社会に貢献する専門的職業人あるいは研究者を目指す人 地球科学科…地球科学の勉強に強い熱意をもって取り組み、総合的な基礎学力を有し、旺盛な探究心と多面的な思考力を持つ人

		【物理学科入学者受入れの方針】 物理学科の求める入学者 幅広い物理学の基礎知識と創造性豊かな科学的思考力を身につけた人材の育成を目標として教育を行っており、物理学や数学の基礎的学力と、自然現象に対する旺盛な知的好奇心を持った人を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 高等学校で学ぶ物理と数学の内容について、十分に理解しそれを応用する力を養うとともに、高等学校で学ぶレベルの英語の読み書きと会話の能力も身につけてください。 【化学科入学者受入れの方針】 化学科の求める入学者 化学科では、化学に興味を持ち知的好奇心が旺盛な人、化学における高い専門性と幅広い教養を身につけ、人類と国際社会への貢献に意欲ある人を求めています。より具体的には、物質の創製や機能・性質の解明に強い興味を持ち、専門知識を基に社会貢献に意欲ある職業人を目指す人、あるいは大学院に進学し高度な研究能力を養い、研究者や高度専門職業人になりたいと考えている人を希望しています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 化学Ⅰ・Ⅱ、物理Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ～Ⅲと数学A～Cおよび外国語（主に英語）の基礎学力を十分に身につけてください。化学については出来る限り多くの実験・調査を体験してください。また、上記以外のいろいろな科目の知識も、基礎学力として広く身につけてください。 【生物学科入学者受入れの方針】 生物学科の求める入学者 生物学科では、さまざまな生命現象や生物の多様性に強い興味をもち、創造性豊かな人を求めています。そして生物学科で得た知識と技術を基にして、社会に貢献できる専門性の高い職業人や研究者をめざす人を希望します。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 入学後、分子生物学から生態学まで、様々な生物学の専門分野の教育をうけることになります。生物Ⅱの科目においては、“生物の分類と系統”と“生物の集団”の両方の単元を勉強しておくことが必要です。また理系の教科の基礎学力だけでなく、論理的な文章を書くことができる日本語力、および自然科学の世界での共通言語である英語の素養を、きっちりと身に付けることが重要です。 【地球科学科入学者受入れの方針】 地球科学科の求める入学者 地球科学科では、幅広い地球科学の基礎知識と創造性豊かな思考力、国際性を身につけた人材（技術者や研究者）の育成を目標としています。 地球科学の勉強に強い熱意をもって取り組み、総合的な基礎学力を有し、旺盛な探求心と多面的な思考力を持つ人、また得られた知識を基に社会に還元する意欲のある人を希望しています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 高等学校で学ぶ数学や理科、英語に関する十分な基礎学力を身につけてください。また、論理的な思考力や文章力、多様な地球科学現象に対する知的好奇心を有することも重要です。	
医学部入学者受入れ方針の変更	平成21年10月13日	【医学部入学者受入れの方針】 医学部の求める入学者 医学部では、基礎学力があり、健康で多様性に富んだ次のような資質を兼ね備えた人を求めています。 1. 創造性に溢れた論理的な思考のできる人 2. 高い倫理観と強い使命感を持つ人 3. 世のため人のために誠心誠意尽くすことのできる人 4. 将来の日本および世界の医学をリードするような高い志を有する人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 医学部では、広範囲で多様な学問分野、基礎医学、社会医学、臨床医学を学習します。 将来、国内外の様々な医学関連分野で活躍するために必要な基礎学力と医学への高い関心、倫理観、そして広く社会に目を向ける姿勢を身に付けておくことを望みます。	医学部の求める入学者 医学部では、基礎学力があり、健康で多様性に富んだ次のような資質を兼ね備えた人を求めています。 1. 創造性に溢れた論理的な思考のできる人 2. 高い倫理観と強い使命感を持つ人 3. 世のため人のために誠心誠意尽くすことのできる人 4. 将来の日本および世界の医学をリードするような高い志を有する人

薬学部入学者受入れ方針の変更	平成21年10月28日	【薬学部入学者受入れの方針】 薬学部の求める入学者 薬学部の研究・学問は以下の3つの分野に分類できます。 ①疾病の治療・診断・予防に用いられる医薬品の開発や、医薬品と生体との相互作用についての研究 ②公衆衛生の観点から環境中や身近にある化学物質と人との関わりに関する研究 ③チーム医療の一員として医薬品の適正な使用を目指し、病態解析、医薬品の管理・提供、さらに医薬品情報の収集・発信についての研究 薬学部ではこのような研究・学問を通じ人類の健康や福祉の促進に貢献することを目指しています。また、科学者の視線を持った薬剤師の養成にも力を入れています。 従って、千葉大学薬学部は以下のような入学者を求めています。 ①探求心をもち、既存の知識にとらわれず、論理的に思考できる人。 ②将来大学院に進学し、生命科学や創薬科学の研究者または教育者を目指す人 ③指導的な立場の薬剤師になることを希望する人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 薬学を学ぶ基礎学力として必要な理系科目（数学、理科）と外国語に加え、一般及び推薦入試において大学入試センター試験で課す他の科目（国語と社会）も学んで欲しい。理科は化学に加え、物理と生物の両科目の履修を希望します。そして、薬学の根底に流れるのは豊かな人間性ですので、それを培う教養もしっかりと身に付けて下さい。	薬学部の求める入学者 薬学部の研究・学問分野は 1. 疾病の治療・診断・予防に用いられる医薬品の研究・開発を行う。 2. 医療の場において薬の専門家として医師と協力して医薬品の提供、医薬品の管理、処方箋のチェック、薬の服用方の説明を行う。 3. 公衆衛生上、人類の健康に必須あるいは逆に有害な化学物質に関する研究を行う。 など3つの分野に分類できます。 したがって、本学部では以下のような人を求めています。 1. 探究心をもち既存の知識を鵜呑みにせず、理論的に思考できる人 2. 将来大学院に進学し生命科学や創薬科学の研究者を希望する人 3. 指導的な立場の薬剤師になることを希望する人
看護学部入学者受入れ方針の変更	平成22年 1月20日	【看護学部入学者受入れの方針】 看護学部の求める入学者 千葉大学看護学部は、多様な人々との連携・協働の中で、看護実践の根拠や看護専門職としての役割を明確に示しながら社会の要請に積極的に応え、人類の健康・福祉に主体的に貢献できるナース・サイエンティストの養成を目指しています。 看護学部は次のような資質を有する学生の入学を求めています。 ● 確かな学力 学ぶことの中に面白さを発見でき、柔軟な発想と論理的な思考の基礎となる学力を有している人 ● 豊かな感性・主体性 相手の立場を思いやることができ、様々な人々と協力し合いながら主体的に行動できる人 ● 高い志 幅広い問題意識を持ち、人々の健康を支えるという側面から、看護の実践や研究に取り組みたいという意欲を持つ人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと ● 看護学は人々の命と健康を支える学問です。世界で起っている様々な出来事と健康との関連を考え、人間に対して常日頃から関心をもち、様々な考え方に触れてきてください。 ● 看護専門職として生涯にわたり学習を継続することが大切です。疑問を持ったことに対して、自ら調べ、それを解決する習慣を身につけてきてください。 ● 生命現象を理解するために必要となる自然科学（化学、生物、物理）の基礎知識を備えてきてください。 ● 看護は多様な人々と連携・協働する活動です。他者とのコミュニケーション能力と語学力（国語、外国語）を高めてきてください。	看護学部の求める入学者 看護学は、看護専門職者の実践活動に理論的根拠と体系を与え、人々が健康かつ安寧な生活をおくれるように、その人権を尊重し擁護する立場から支援する方法を追求する学問です。したがって、看護学部では次のような人を求めています。 1. 人間に強い関心を持ち、人類の福祉に貢献したいと願う人 2. 相手の立場に立って、自律的に物事を考えられる人 3. 豊かな感性を持ち、自己を表現できる人 4. 幅広い基礎学力と柔軟かつ論理的な思考力を備えている人 5. 主体的な学習態度を持ち、看護学への学習意欲が高い人
工学部及び同学部各学科入学者受入れ方針の変更	平成21年10月 8 日	【工学部入学者受入れの方針】 工学部の求める入学者 コンピュータの発展と普及により、科学技術は大きな転換期を迎えています。私たちは、豊かな社会構築をめざして効率性や利便性を追求する上で、人にやさしいこと、環境にやさしいことも求められています。工学部では、工学教育の伝統的な専門性を尊重しながらも、その枠を超えて互いの連携・融合を図ることにより、常に、広範な社会的要請に応えられる専門教育システムの確立に努めています。そして、「なぜ」「いかにして」「何をなすべきか」の3つの能力とマインドを総合的に備え、それを実践できる工学技術者・研究者の育成を目指します。 私たちは、工学を「豊かな人間社会の構築をめざす実践の学問」と考えています。社会と環境を支える技術者・研究者を育成する工学部では、 1. 「なぜ」を問う好奇心・探究心 2. 「何をなすべきか」を主体的に考える力 3. 「いかにしてなすか」を構想し、実践する力を修得することに、興味と資質を有する人材を求めます。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について充分に理解できていることが必要です。数学を含む理系科目は工学の基礎となる科目ですのでとても重要ですが、国語、外国語も、将来、報告書を作成する上で重要です。論理的な思考で組み立てられた報告書が書けなければ自らの考えを他人に伝えられないので、技術者・研究者としての価値がなくなってしまいます。具体的な理系科目は学科によって重要度が異なりますので、各学科の入学者受入れの方針を参照してください。また、「なぜを問い、いかにして何をなすべきか」を修得していく上で、もう一つ重要なこととして、「学ぶ」ことを楽しむ姿勢を身につけてほしいと考えています。	工学部の求める入学者 私たちは、工学を「豊かな人間社会の構築をめざす実践の学問」と考えています。これを支える技術者・研究者を育成する工学部では、 1. 「なぜ」を問う好奇心・探究心 2. 「何をなすべきか」を主体的に考える力 3. 「いかにしてなすか」を構想し、実践する力を修得することに、興味と資質を有する人材を求めます。 各学科では、上記を踏まえ、次のような人を求めています。 都市環境システム学科…都市を含む現代地域社会の豊かな環境の構築と諸問題の解決に対し、工学的探究心をもち、総合的かつ積極的に取り組む意欲のある人 デザイン工学科…学術・技術・芸術を総合した幅広い知識に基づく実践として、デザイン・建築を理解し、創造することを学ぶ意欲のある人 電子機械工学科…数学や物理に興味をもち、それらを応用した電子・機械工学によって社会を豊かにしようという強い意欲のある人 メディカルシステム工学科…医療機器や技術の開発などを通して、人類の基本的欲求である健康を支える医用工学の発展に向けて、情熱と意欲のある人 情報画像工学科…情報・画像の入力から出力までにかかわるマテリアルならびにシステムに関する幅広い分野の技術を用いて、新しい情報化社会を創成する意欲のある人 共生応用化学科…環境調和、バイオテクノロジー、機能材料などの側面から化学を学び、応用することへの意欲をもち、そのための基礎的素養がある人

【建築学科入学者受入れの方針】

建築学科の求める入学者

都市を含む現代地域社会の豊かな環境の構築と諸問題の解決に対し、工学的探究心をもち、総合的かつ積極的に取り組む意欲のある人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）の基礎学力を入学までに身に付けておくこと。加えて、現代社会の動向と芸術文化に関心を持つこと。

【都市環境システム学科入学者受入れの方針】

都市環境システム学科の求める入学者

21世紀にふさわしい都市概念の創成と、豊かで環境と調和した都市空間の実現に向けて探究心をもち意欲的に取り組む人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）をしっかりと学力・知識として理解できていることを望みます。本学科は、豊かで快適な都市を実現するために、環境と調和した都市空間、安全で安心な都市基盤、都市生活を支える情報システム等を、広くかつ深く学ぶためのコースです。志望者は、新しい都市を創造するという大志を抱いて、当学科を受験してください。

【デザイン学科入学者受入れの方針】

デザイン学科の求める入学者

学術・技術・芸術を総合した幅広い知識に基づく実践としてのデザインを学び、社会的使命感をもって創造的問題解決に取り組む意欲のある人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）の基礎学力を身に付けておくことはもちろんですが、人間や生活環境全般についての問題意識と絵を描くことやものを造ることによって自分のアイデアを表現する意欲をもっていることが必要です。

【機械工学科入学者受入れの方針】

機械工学科の求める入学者

ものづくりに興味があり、数学や物理が大好きで、それらを応用した機械工学を学びたいと思っている人。将来、機械に関連した産業分野で働く機械設計や制御などに関わる技術者や、機械工学を核とする多様な技術領域で活躍する研究者を目指す人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について充分に理解できていることが必要です。本学科で学ぶ機械工学では、機械を含むシステムの物理的・工学的な特性を対象とし、数学を道具として解析や設計を行うことになります。そのため、物理と数学について習熟するとともに、日常的な物理現象にも興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身に付けて欲しいと考えます。

【メディカルシステム工学科入学者受入れの方針】

メディカルシステム工学科の求める入学者

医療機器や技術の開発などを通して、人類の基本的欲求である健康を支える医用工学の発展に向けて、情熱と意欲のある人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）の内容を充分に理解できていることを望みます。本学科が対象とする医用工学は、人の命に直接的・間接的に関わり、人類の健康と福祉に寄与する学問分野です。みなさん自身が将来それを具現化することをイメージし、大志を抱いて当学科に来てください。

【電気電子工学科入学者受入れの方針】

電気電子工学科の求める入学者

電気電子工学の社会的使命に共感し、その技術の発展に寄与したいと強く希望する人。さらに、そのための専門的な知識・能力を習得する意欲と、それを支える基礎的素養を備えている人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）において学んだ広範な知識がしっかり理解できていることを望みます。本学科で学ぶ電気電子工学では、電気・電磁気の物理現象と工学的特性を対象とし、数学を用いて解析と設計を行うことになります。そのため、物理と数学の本質を習熟すると共に、物理現象に興味を持ち、それを意欲的に探究する姿勢を身につけてほしいものです。

【ナノサイエンス学科入学者受入れの方針】

ナノサイエンス学科の求める入学者

原子・分子レベルのナノスケールの世界を操り、新しい科学・工学領域を切り拓く意欲のある人。特に、夢と強い探究心と粘り強さをもつ人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）の基礎学力を入学までに十分に身に付けておくことが必要です。特に、ナノサイエンスの分野では、ナノスケールの諸現象を理解するために必要な物理や数学に加え、様々な物質をあつかうための化学に関する知識など幅広い基礎が必要です。ナノサイエンスへの興味にとどまらず、学問分野の垣根にとらわれずにいろいろなサイエンスに興味をもてるように心がけてほしい。

【共生応用化学科入学者受入れの方針】

共生応用化学科の求める入学者

化学を学び、環境調和技術、バイオテクノロジー、機能材料などに応用することへの意欲をもち、そのための基礎学力がある人。さらに、物質創生・生産に関わる研究者・技術者を目指す人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）の内容を十分に理解できていることを望みます。本学科では、化学を中心にした学問領域を学びますが、将来、化学だけでなく他の分野との境界領域で仕事をすることも多くなりますので、化学以外の科目にも興味を持って勉強して来てください。

【画像科学科入学者受入れの方針】

画像科学科の求める入学者

基盤学問に立脚した画像の形成・表示・記録・伝送などの技術、ならびに人と画像のかかわりに興味を持ち、画像を通して人に優しい未来の実現に意欲のある人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）の基礎学力を入学までに身に付けておくことが大切です。特に画像科学の分野は物理、化学にまたがる学問領域となりますので、自然科学一般に興味を持ち続けることを希望します。

【情報画像学科入学者受入れの方針】

情報画像学科の求める入学者

人と情報化社会の調和を考え、情報の獲得・記憶・処理・伝達・表現のための知識・技術を修得し、未来の情報画像社会を創成し、支えていくことに意欲のある人

千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）の内容を十分に理解できていることを望みます。本学科では、数学、物理を中心にした学問領域を学びますが、情報画像の分野は、将来、他の分野との境界領域に仕事を求めることが多くなりますので、数学、物理以外の国語、化学、外国語の科目にも興味を持ち続けてほしいものです。

園芸学部及び同学部各学科入学受入れ方針の変更	平成21年10月22日	【園芸学部入学受入れの方針】 園芸学部の求める入学者 1. 「食と緑」の領域に好奇心をもって取り組み、新しい発見と創造にチャレンジする意欲のある人 2. 高等学校までに学ぶべき事柄を幅広く修得している人 3. 入学後の学修において必要となる基本科目に関する基礎学力を有している人 4. 他者と協力して物事に取り組むのに必要なコミュニケーション能力と学力を有している人 5. 専門技術者として、グローバルな視点、地域の視点にたって社会に貢献する熱意のある人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 学習指導要領等に示された、高等学校において学ぶべき科目を幅広く履修し、入学後の学修において必要となる基本科目の基礎学力を養うと共に、他の人との関わり合いの中でコミュニケーション能力を身につけてください。 広く社会に目を向け、幅広い知識を養い、豊かな人間性と社会や学問に対する好奇心を高めてください。 【園芸学科入学受入れの方針】 園芸学科の求める入学者 植物の生産に関する諸問題や生物学的現象に広く関心を持ち、先端栽培技術やバイオテクノロジー、植物を取り巻く生態系や物理的・化学的環境の管理や分析など、さまざまな専門知識や技術を幅広く学び、生かそうとする意欲がある人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 学習指導要領等に示された、高等学校において学ぶべき科目を幅広く履修し、入学後の学修において必要となる基本科目の基礎学力を養うと共に、他の人との関わり合いの中でコミュニケーション能力を身につけてください。 広く社会に目を向け、幅広い知識を養い、豊かな人間性と社会や学問に対する好奇心を高めてください。 【応用生命化学科入学受入れの方針】 応用生命化学科の求める入学者 生命のしくみや生体分子の機能を探求するのに必要な知識・理論・技術を修得し、生命現象の理解や生物資源の利用、さらには食品・環境・健康に関する課題の解決に意欲的に取り組める人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 特に、化学、生物、物理、数学、語学（英語と国語）の基礎学力をつけておくことが必要です。 【緑地環境学科入学受入れの方針】 緑地環境学科の求める入学者 人と自然が共生する豊かで持続的な環境を保全し創造するために、緑地環境に関わる解析や、計画・設計、施工・管理・運営に関わる知識や技術を身につけ、発展させる意欲のある人 千葉大学入学までに身につけて欲しいこと 学部が求める条件に加え、都市や農村、自然域などを歩き、よく観察する習慣を身につけてください。また、緑地や環境に関連する図書を読んでください。 【食料資源経済学科入学受入れの方針】 食料資源経済学科の求める入学者 国際化した現代社会における食料および農村資源や環境の役割と意義について学び、21世紀における社会のあり方と個人の役割を考え、社会科学の知識を生かして積極的に行動する意欲のある人 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 学習指導要領等に示された、高等学校において学ぶべき科目を幅広く履修し、入学後の学修において必要となる基本科目の基礎学力を養うと共に、他の人との関わり合いの中でコミュニケーション能力を身につけてください。 広く社会に目を向け、幅広い知識を養い、豊かな人間性と社会や学問に対する好奇心を高めてください。	園芸学部の求める入学者 園芸学部は100年の歴史と園芸領域の輝かしい実績を有し、常に発展するわが国有数の実践的学問の拠点です。自然環境や生物資源の価値を理解し、研究の成果を社会に還元できる創造的人材の育成を大きな柱としています。食、緑、自然環境、バイオテクノロジー、生活、流通などに関連する領域で新しい発見と創造にチャレンジする意欲的な人を求めています。このようなポリシーのもとに各学科では次のような人を求めています。 園芸学科…………生物資源の価値と重要性をよく理解し、資源植物の生産と環境に関わる分野の科学知識、理論、技術の習得と開発に意欲的に取り組む人 応用生命化学科…機能・動態解析、先進的分析技術などについて総合的に理解し、生命分子、食の安全やバイオマスに関わる物質とその動態を探索できる知識、理論、分析技術などの修得に意欲的に取り組む人 緑地環境学科…人と自然の共生に関する知識を広げ、豊かで持続的な緑地環境を保全し創造するための考え方を深め、科学技術と造園デザイン、環境と健康に関する知識を身につけ発展させる意欲のある人 食料資源経済学科…国際化した現代社会における食料および農村資源や環境の役割と意義について学び、21世紀における社会のあり方と個人の役割を考え社会科学の知識を生かして積極的に行動できる人
-------------------------------	--------------------	--	--

先進科学プログラム及び同プログラム各コース入学者受入れ方針の設定	平成21年10月20日	【先進科学プログラム入学者受入れの方針】 先進科学プログラムの求める入学者 先進科学プログラムは、世界に貢献する独創的な研究を担うことができ、広い視野と柔軟な思考力を備えた個性的な人材を養成するために、特定の分野において優れた能力や資質をもつ若者に対して、早期から特色ある大学教育を提供することを目的に作られました。本プログラムでは、研究の基礎となる学問を深く学び、将来、研究者等になり先端的な研究を行うことに強い志を持つ学生の入学を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 高等学校で学ぶ学習内容の基礎学力を確実に修得していること。さらに、進学するコースに関連する教科では高いレベルの展開力を身に付けていることを望みます。 【物理学コース入学者受入れの方針】 物理学コースの求める入学者 物理学は未知の自然現象を調べ、その本質的な原理や法則を明らかにするだけでなく、人間が自然をどのように理解し、物事をどのように考えるかという文化の基本課題にも密接に関わってきた重要な学問です。物理学コースでは、物理学に関して優れた資質を持ち、深く真摯に学んで物理学または関連分野の研究者になることを志す学生を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 入学後の勉学をより実りあるものにするためにも、高等学校での学習内容を十分に理解していることが必要です。特に、物理学などの自然科学、それを記述する言語である数学、論理的に議論し表記する国語や英語についての十分な基礎学力と応用力を身に付けて入学するように努力して下さい。 【物理化学コース入学者受入れの方針】 物理化学コースの求める入学者 化学は、日常生活で目にする物質から自然の中の生命体に至るまで、物質や生命の成り立ちや働きを理解する学問です。その中で「物理化学」は、物理学的手法を用いて様々な化学物質の構造や多様な性質・反応性を説明し、新しい物質の設計や機能の開拓の指針を得るなど、様々な化学のための基礎原理を与えます。物理化学コースでは、化学および物理学に関して強い好奇心と優れた資質を持ち、将来、物理化学の分野において探究を志す学生を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 数学、理科（物理および化学、それぞれⅡ までが望ましい）、および語学を高いレベルで修得することを望みます。具体的には、物理化学の分野における探求に必要な論理力を高等学校での数学などの授業で身につけてください。また、大学での勉学、さらに研究を行なう際には、日本語・英語による発信力が不可欠になるので、国語、英語の基礎学力も求められます。 【FTコース入学者受入れの方針】 FTコースの求める入学者 フロンティアテクノロジー（FT）コースとは、物理学や化学のように真理を探究するサイエンスと、その応用を通して社会に役立つ「もの」を創造するテクノロジーの2つの分野を結ぶ人材を育成するコースです。このような領域に強い興味があり、数学と理科に関して優れた資質を持ち、広くこれらに関連する学問分野で探求を志す学生を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 方式Ⅰ、Ⅱ の違いに依らず、高等学校での学習内容（特に数学と理科）を十分に理解していることを望みます。進学する学科によっては社会科などの素養も重要です。それに加えて、実現象の観察力、論理的思考力を十分に身につけてください。また、進学を希望する工学部の学科の入学者受入れの方針も参考にしてください。 【人間探求コース入学者受入れの方針】 人間探求コースの求める入学者 人間の心や行動、社会、文化についての多面的理解は21世紀における科学的研究の中心的課題となるでしょう。人間探求コースでは、従来の文系・理系という区分にこだわらず、人間について科学的で客観的に解明することに強い興味を持ち、将来、関連する分野の専門家（研究者、教育者、科学ジャーナリストなど）として社会に情報発信することを志す学生を求めています。 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと 入学後の勉学をより実りあるものにするために、高等学校での全学習分野の内容を十分に理解していることが望まれます。特に、情報の受信・発信の基礎となる国語、英語はもちろんのこと、論理的な思考の基礎となる数学、理科などの自然科学についての十分な基礎学力を身につけておいてください。また、人間のどのような側面について研究したいのか、関連分野の専門的な書籍を読むなどして、深く考えておいてください。
---	--------------------	--

4. 東京工業大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較					
		新			旧		
入学定員及び収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻、課程) (入学定員) (収容定員) イノベーションマネジメント研究科 技術経営専攻 (専門職学位課程) 35人 70人 イノベーション専攻 (博士後期課程) 10人 27人			(研究科、専攻、課程) (入学定員) (収容定員) イノベーションマネジメント研究科 技術経営専攻 (専門職学位課程) 35人 65人 イノベーション専攻 (博士後期課程) 10人 24人		

5. 一橋大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較					
		新			旧		
入学定員の変更、収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻、課程) (入学定員) (収容定員) 法学研究科 法務専攻 (専門職学位課程) 85人 285人			(研究科、専攻、課程) (入学定員) (収容定員) 法学研究科 法務専攻 (専門職学位課程) 100人 300人		
収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻、課程) (収容定員) 社会学研究科 地球社会研究専攻 (修士課程) 40人 地球社会研究専攻 (博士課程) 21人			(研究科、専攻、課程) (収容定員) 社会学研究科 地球社会研究専攻 (修士課程) 37人 地球社会研究専攻 (博士課程) 24人		

6. 横浜国立大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較					
		新			旧		
専攻名の変更 (大学院教育学研究科)	平成22年 4 月 1 日	(名称) 大学院教育学研究科 特別支援教育専攻			(名称) 大学院教育学研究科 障害児教育専攻		
収容定員・入学定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻) (入学定員) (収容定員) 国際社会科学研究科 法曹実務専攻 40人 120人			(研究科、専攻) (入学定員) (収容定員) 国際社会科学研究科 法曹実務専攻 50人 150人		

7. 新潟大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較									
		新					旧				
人文学部の改組に伴う「学科 (課程)」の変更 医学部医学科の入学定員の増に伴う「入学定員及び収容定員」の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科) (入学定員) (2 年次編入) (3 年次編入) (収容定員)					(学部、課程) (入学定員) (2 年次編入) (3 年次編入) (収容定員)				
		人文学部					人文学部				
		人文学科	225人		20人	940人	行動科学課程	75人			300人
							地域文化課程	100人			400人
							情報文化課程	50人			200人
							学部共通			20人	40人
		計	225人		20人	940人	計	225人		20人	940人
		医学部					医学部				
		医学科	120人	5人		745人	医学科	115人	5人		715人
		保健学科	160人		20人	680人	保健学科	160人		20人	680人
		計	280人	5人	20人	1,425人	計	275人	25人		1,395人

大学院自然科学研究科の改組に伴う「専攻、入学定員及び収容定員」の変更 大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）の設置に伴う「専攻、入学定員及び収容定員」の変更 大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻（博士課程）の入学定員の減に伴う「入学定員及び収容定員」の変更 大学院実務法学研究科実務法学専攻（専門職学位課程）の入学定員の減に伴う「入学定員及び収容定員」の変更	平成22年 4 月 1 日	(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員) 自然科学研究科 博士前期課程 数理物質科学専攻 63人 126人 材料生産システム専攻 143人 286人 電気情報工学専攻 122人 244人 生命・食料科学専攻 70人 140人 環境科学専攻 89人 178人 計 487人 974人 博士後期課程 数理物質科学専攻 13人 39人 材料生産システム専攻 16人 48人 電気情報工学専攻 13人 39人 生命・食料科学専攻 13人 39人 環境科学専攻 15人 45人 計 70人 210人 医歯学総合研究科 博士後期課程 口腔生命福祉学専攻 3人 9人 博士課程 分子細胞医学専攻 22人 88人 生体機能調節医学専攻 37人 148人 地域疾病制御医学専攻 14人 56人 口腔生命科学専攻 28人 112人 計 101人 404人 実務法学研究科 専門職学位課程 実務法学専攻 35人 105人	(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員) 自然科学研究科 博士前期課程 自然構造科学専攻 63人 126人 材料生産システム専攻 134人 268人 生命・食料科学専攻 73人 146人 環境共生科学専攻 78人 156人 数理・情報電子工学専攻 108人 216人 人間支援科学専攻 31人 62人 計 487人 974人 博士後期課程 自然構造科学専攻 17人 51人 材料生産システム専攻 19人 57人 生命・食料科学専攻 17人 51人 環境共生科学専攻 15人 45人 情報理工学専攻 21人 63人 計 89人 267人 医歯学総合研究科 博士課程 分子細胞医学専攻 22人 88人 生体機能調節医学専攻 37人 148人 地域疾病制御医学専攻 14人 56人 口腔生命科学専攻 32人 128人 計 105人 420人 実務法学研究科 専門職学位課程 実務法学専攻 60人 180人
全学的な組織である「全学教育機構」を「教育・学生支援機構」に再編	平成22年 4 月 1 日	(名称) 教育・学生支援機構	(名称) 全学教育機構
大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）の設置に伴う入学受入方針（アドミッションポリシー）の設定	平成22年 4 月 1 日	医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）の入学受入方針 ○理念 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）は、障害者、要介護者を含む全ての人々の摂食・口腔機能の維持向上および安心安全な食介護の推進に資することを目的に、口腔生命科学を基盤としつつ、社会福祉学領域等との学際的研究を自ら推進できる指導的教育研究者を養成するとともに、当該分野における研究成果を地域および国際社会で実践・展開できる高度専門職業人を養成することにより、地域社会および国際社会における健康水準と生活の質の向上に寄与することを基本理念とする。 ○目標 摂食・口腔機能の育成および維持向上、安心・安全な食介護の推進に関し、口腔を中心とした生命医療科学を基盤としながら、保健・医療と社会福祉学領域等との学際的研究を推進できる指導的教育研究者および地域・国際社会において指導的役割を果たせる高度専門職業人を養成することを目標とする。 ○求める学生像 口腔保健・医療福祉分野に従事する専門職として求められる基本的な教養とコミュニケーション能力などの資質とともに、専門科目の履修に必要な基礎学力を有したうえで、生命科学一般及び保健医療福祉に関する基本的理解に立脚した、専門分野への深い関心と高い目的意識を持ち合わせた学生を求める。 ○入学者選抜方針 本専攻が目指す学際的研究の自立的な遂行と新たな学問体系の確立、あるいは地域・国際社会における先駆的实践に高い意志を持ち、口腔を中心とした生命医療科学および保健・医療・福祉に関する基本的理解とともに、修学および研究の遂行に必要な一般教養、コミュニケーション能力、語学力を有する人を選抜する。	

8. 金沢大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較						
		新				旧		
医薬保健学域医学類の入学定員及び収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学域、学類)	(入学定員)(3年次編入)(収容定員)			(学域、学類)	(入学定員)(3年次編入)(収容定員)	
		医薬保健学域	387人	35人	1,922人	医薬保健学域	380人	35人 1,880人
		医学類	112人	5人	692人	医学類	105人	5人 650人
		薬学類	35人		210人	薬学類	35人	210人
		創薬科学類	40人		160人	創薬科学類	40人	160人
		保健学類	200人	30人	860人	保健学類	200人	30人 860人
自然科学研究科（博士前期課程）に設置の「生命薬学専攻」及び「医療薬学専攻」における学生募集の停止並びに医学系研究科（博士前期課程）における「創薬科学専攻」の設置	平成22年 4 月 1 日	(研究科、課程、専攻)	(入学定員)(収容定員)			(研究科、課程、専攻)	(入学定員)(収容定員)	
		自然科学研究科	377人	754人		自然科学研究科	441人	882人
		博士前期課程				博士前期課程		
		数物科学専攻	56人	112人		数物科学専攻	56人	112人
		電子情報工学専攻	67人	134人		電子情報工学専攻	67人	134人
		機能機械科学専攻	51人	102人		機能機械科学専攻	51人	102人
		人間・機械科学専攻	40人	80人		人間・機械科学専攻	40人	80人
		物質化学専攻	26人	52人		物質化学専攻	26人	52人
		物質工学専攻	53人	106人		物質工学専攻	53人	106人
		地球環境学専攻	19人	38人		地球環境学専攻	19人	38人
		社会基盤工学専攻	48人	96人		社会基盤工学専攻	48人	96人
		生物科学専攻	17人	34人		生物科学専攻	17人	34人
		(募集停止)				生命薬学専攻	48人	96人
		(募集停止)				医療薬学専攻	16人	32人
		医学系研究科	123人	246人		医学系研究科	85人	170人
		修士課程及び博士前期課程				修士課程及び博士前期課程		
		医科学専攻	15人	30人		医科学専攻	15人	30人
		創薬科学専攻	38人	76人				
		保健学専攻	70人	140人		保健学専攻	70人	140人
法務研究科の入学定員及び収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻)	(入学定員)(収容定員)			(研究科、専攻)	(入学定員)(収容定員)	
		法務研究科				法務研究科		
		法務専攻	25人	75人		法務専攻	40人	120人

9. 山梨大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較						
		新				旧		
医学部医学科の入学定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科)	(入学定員)			(学部、学科)	(入学定員)	
		医学部				医学部		
		医学科	125人			医学科	120人	
大学院教育学研究科の専攻改組（入学定員の変更を含む。）	平成22年 4 月 1 日	(研究科、専攻)	(入学定員)			(研究科、専攻)	(入学定員)	
		教育学研究科				教育学研究科		
		教育支援科学専攻		6人		学校教育専攻	6人	
		教科教育専攻		22人		障害児教育専攻	3人	
						教科教育専攻	33人	
		教育実践創成専攻（教職大学院）		14人				
大学院医学工学総合教育部博士課程の入学定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(部、課程、専攻)	(入学定員)			(部、課程、専攻)	(入学定員)	
		医学工学総合教育部				医学工学総合教育部		
		博士課程				博士課程		
		先進医療科学専攻		17人		先進医療科学専攻	21人	
		生体制御学専攻		10人		生体制御学専攻	12人	
		人間環境医工学専攻		16人		人間環境医工学専攻	18人	
		機能材料システム工学専攻		10人		機能材料システム工学専攻	13人	
		情報機能システム工学専攻		9人		情報機能システム工学専攻	12人	
		環境社会創生工学専攻		10人		環境社会創生工学専攻	13人	

10. 岐阜大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
入学定員及び収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科)	(入学定員)(収容定員)	(学部、学科)	(入学定員)(収容定員)
		医学部		医学部	
		医学科	107人 642人	医学科	100人 600人
		(研究科、課程、専攻)		(研究科、課程、専攻)	
		連合農学研究科		連合農学研究科	
		博士課程		博士課程	
		生物生産科学専攻	7人 21人	生物生産科学専攻	6人 18人
		生物環境科学専攻	5人 15人	生物環境科学専攻	4人 12人
		生物資源科学専攻	8人 24人	生物資源科学専攻	6人 18人
学生が身につける取得資格の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科)	(免許状の種類)	(学部、学科)	(免許状の種類)
		医学部		医学部	
		看護学科	看護師免許 保健師免許 助産師免許 養護教諭一種免許状	看護学科	看護師免許 保健師免許 助産師免許
		工学部		工学部	
		社会基盤工学科	高等学校教諭一種免許状(工業)	社会基盤工学科	高等学校教諭一種免許状(工業)
		機械システム工学科	〃	機械システム工学科	〃
		応用化学科	〃	応用化学科	〃
		電気電子工学科	〃	電気電子工学科	〃
		生命工学科	〃	生命工学科	〃
		応用情報学科	〃	応用情報学科	〃
		機械材料工学科	〃	機械材料工学科	〃
		人間情報システム工学科	〃	人間情報システム工学科	〃
		数理デザイン工学科	高等学校教諭一種免許状(数学)		

11. 浜松医科大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
学長の変更	平成22年 4 月 1 日	中村 達		寺尾 俊彦	
入学定員・収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学科)	(入学定員)(2年次後期編入)(収容定員)	(学科)	(入学定員)(2年次後期編入)(収容定員)
		医学科	115人 5人 620人	医学科	105人 5人 605人

12. 名古屋大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
入学定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科)	(入学定員)(3年次編入)	(学部、学科)	(入学定員)(3年次編入)
		医学部		医学部	
		医学科	107人 5人	医学科	103人 5人
		(研究科、課程、専攻)	(入学定員)	(研究科、課程、専攻)	(入学定員)
		法学研究科		法学研究科	
		専門職学位課程		専門職学位課程	
		実務法曹養成専攻	70人	実務法曹養成専攻	80人
		理学研究科		理学研究科	
		博士課程前期課程		博士課程前期課程	
		物質理学専攻	65人	物質理学専攻	49人
		生命理学専攻	44人	生命理学専攻	39人
		生命農学研究科		生命農学研究科	
		博士課程前期課程		博士課程前期課程	
		生物圏資源学専攻	36人	生物圏資源学専攻	30人
		生物機構・機能科学専攻	39人	生物機構・機能科学専攻	33人
		応用分子生命科学専攻	41人	応用分子生命科学専攻	34人
		生命技術科学専攻	29人	生命技術科学専攻	24人
		博士課程後期課程		博士課程後期課程	
		生物圏資源学専攻	11人	生物圏資源学専攻	14人
		生物機構・機能科学専攻	12人	生物機構・機能科学専攻	15人
		応用分子生命科学専攻	13人	応用分子生命科学専攻	16人
		生命技術科学専攻	9人	生命技術科学専攻	12人

13. 鳥取大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
学内共同教育研究施設の廃止	平成22年4月1日	(名称) (廃止) (廃止) (廃止)		(名称) 入学センター 教育センター 生涯教育総合センター	
学部附属の教育研究施設の廃止	平成21年7月7日	(名称) (廃止)		(名称) 附属脳幹性疾患研究施設	
学部附属の教育研究施設の施設名の変更	平成22年4月1日	(名称) 農学部附属動物医療センター		(名称) 農学部附属動物病院	
大学教育支援機構の改組	平成22年4月1日	(名称) 入学センター 教育センター キャリアセンター		(名称) (新設) (新設) (新設)	
入学定員・編入学定員・収容定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員) (編入学) (収容定員) 医学部 医学科 98人 5人 508人		(学部、学科) (入学定員) (編入学) (収容定員) 医学部 医学科 85人 10人 485人	

14. 岡山大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
医歯薬学総合研究科の改組に伴う変更	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員) 医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬科学専攻 40人 80人		(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員) 医歯薬学総合研究科 博士前期課程 創薬生命科学専攻 65人 130人	
法務研究科の入学定員の変更	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員) 法務研究科 専門職学位課程 法務専攻 45人 135人		(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員) 法務研究科 専門職学位課程 法務専攻 60人 180人	
医学部医学科の入学定員及び2年次編入の変更	平成22年4月1日	(学部、学科、年度) (入学定員) (収容定員) 医学部 医学科 平成22年度 112人 622人※ 平成23年度 112人 639人※ 平成24年度 112人 656人※ 平成25年度 112人 673人※ 平成26年度 112人 690人※ 平成27～29年度 112人 697人※ 平成30年度 107人 692人※ 平成31年度 107人 687人※ 平成32年度 100人 675人※ 平成33年度 100人 663人※ 平成34年度 100人 651人※ 平成35年度 100人 639人※ 平成36年度 100人 632人※ 平成37年度～ 100人 625人※		(学部、学科、年度) (入学定員) (収容定員) 医学部 医学科 平成22年度 105人 610人※ 平成23年度 105人 620人※ 平成24年度 105人 630人※ 平成25年度 105人 640人※ 平成26～29年度 105人 650人※ 平成30年度 100人 645人※ 平成31年度 100人 640人※ 平成32年度 100人 635人※ 平成33年度 100人 630人※ 平成34年度 100人 625人※ 平成35年度～ 100人 620人※	

※医学部医学科の収容定員は編入学定員を含む

15. 愛媛大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
入学定員・収容定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員) (収容定員) 医学部 医学科 107人 592人 看護学科 60人 260人 計 167人 852人 大学全体 1,787人 7,472人		(学部、学科) (入学定員) (収容定員) 医学部 医学科 100人 570人 看護学科 60人 260人 計 160人 830人 大学全体 1,780人 7,450人	

法文学研究科人文科学 専攻のアドミッション・ ポリシーの変更	平成20年 1月24日	<このようなカリキュラムで学ぶためには、次のような力が必要> 人文科学専攻アドミッション・ポリシー (知識・理解) 1. 人文諸科学の専門的な学問内容および方法について、学士課程修了相当の基礎的な知識を有している。 (思考・判断) 2. 人文諸科学におけるいずれかの専門領域の研究方法を用いて、自ら研究課題を設定することができる。 (関心・意欲・態度) 3. 人文諸科学の高度な研究に関心を持ち、身につけた専門的な知によって、生き生きとした知識基盤社会の発展に寄与したいと考えている。 (技能・表現) 4. 自らの研究テーマについて、口頭表現や文章表現によって、的確に伝えることができる。	<このようなカリキュラムで学ぶためには、次のような力が必要> (1) まずは、人文諸科学で取り扱う、人間存在、思想、社会、歴史、文化、言語、文学、等々についての幅広い興味と関心が必要です。 (2) さらに、学士課程で学んできた専門分野をさらに深く究めようという意欲が求められます。 (3) そして、学ぼうと思う専門分野に関する基礎的な知識と理解力が必要です。また、専門分野によって要求度は異なりますが、外国語の読解力及び運用能力が必要な場合があります。
理工学研究科 博士前期課程（一般選抜）の アドミッション・ポリ シーの変更	平成21年10月 8 日	愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程では、理工学に関連する基礎知識と専攻分野における専門知識を教授し、優れた科学的追求力と応用力をもつ科学技術者、科学研究者を育成しています。そのため、社会人、外国人留学生を含めて学士の学位保持者を対象に、科学と科学技術のフロンティアに立って社会の福利に貢献することを志す人材を求めています。 入学者選抜にあたっては、能力と意欲について適性を診る学力試験と面接(口頭試問を含む)があります。 以下は各専攻・コースの特徴、教育理念・目標、求める人物像です。 〔生産環境工学専攻〕 (機械工学コース) 本コースは、機械の設計・生産システム、エネルギーの変換と有効利用および機械システムの運動・制御の高度な専門知識や先端的な研究能力を持つ機械技術者・研究者を育成することによって、社会の発展および自然との調和に貢献することを理念としています。そのため、次のような資質・素養をもった人を求めています。 1. 機械工学およびそれに準ずる専門基礎知識を有する人 2. 未知の課題や困難な問題に対して積極的に取り組む意欲のある人 3. 技術者・研究者としての教養を高め、人類の幸福や社会に貢献しようとする意欲のある人 4. 科学技術的な表現力やコミュニケーション能力を高める意欲のある人 (環境建設工学コース) 本コースは土木系のコースですが、従来の国土開発をメインとした土木工学科のイメージだけでなく、広く山頂から海底に至る全ての環境を調査し、分析し、デザインし、建設し、維持管理していく、「環境の創造と保全に関する技術」を教育研究の目標に、次のような資質・素養をもつ人を持っています。 1. 環境建設に関する専門科目を習得するために必要な一定レベルの学力を有しており、理数系科目が得意であるというだけでなく、語学、人文・社会系科目も不得意でない人 2. 好奇心が強く、自然界で生じるさまざまなできごとや、人間社会を支えるさまざまなシステムに興味・関心がある人 3. 屋外での調査・観測や実験・実習が好きで、環境への順応能力が高く、活動的である人 4. 自分が得た知識を説明できる能力(コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力)、集団の中でリーダーシップを発揮できる能力、どんなことにも積極的かつ忍耐力をもって取り組むことのできる能力、多様な観点から物事をみることができ、能力をもっている人、あるいは少なくともこれらの能力を養うための努力を厭わない人	愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程では、理工学に関連する基礎知識と専攻分野における専門知識を教授し、優れた科学的追求力と応用力をもつ科学技術者、科学研究者を育成しています。そのため、社会人、外国人留学生を含めて学士の学位保持者を対象に、科学と科学技術のフロンティアに立って社会の福利に貢献することを志す人材を求めています。 入学者選抜にあたっては、能力と意欲について適性を診る学力試験と面接(口頭試問を含む)があります。 以下は各専攻・コースの特徴、教育理念・目標、求める人物像です。 〔生産環境工学専攻〕 (機械工学コース) 本コースは、機械の設計・生産システム、エネルギーの変換と有効利用および機械システムの運動・制御の高度な専門知識や先端的な研究能力を持つ機械技術者・研究者を育成することによって、社会の発展および自然との調和に貢献することを理念としています。そのため、次のような資質・素養をもった人を求めています。 1. 機械工学およびそれに準ずる専門基礎知識を有する人 2. 未知の課題や困難な問題に対して積極的に取り組む意欲のある人 3. 技術者・研究者としての教養を高め、人類の幸福や社会に貢献しようとする意欲のある人 4. 科学技術的な表現力やコミュニケーション能力を高める意欲のある人 (環境建設工学コース) 本コースは土木系のコースですが、従来の国土開発をメインとした土木工学科のイメージだけでなく、広く山頂から海底に至る全ての環境を調査し、分析し、デザインし、建設し、維持管理していく、「環境の創造と保全に関する技術」を教育研究の目標に、次のような資質・素養をもつ人を持っています。 1. 環境建設に関する専門科目を習得するために必要な一定レベルの学力を有しており、理数系科目が得意であるというだけでなく、語学、人文・社会系科目も不得意でない人 2. 好奇心が強く、自然界で生じるさまざまなできごとや、人間社会を支えるさまざまなシステムに興味・関心がある人 3. 屋外での調査・観測や実験・実習が好きで、環境への順応能力が高く、活動的である人 4. 自分が得た知識を説明できる能力(コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力)、集団の中でリーダーシップを発揮できる能力、どんなことにも積極的かつ忍耐力をもって取り組むことのできる能力、多様な観点から物事をみることができ、能力をもっている人、あるいは少なくともこれらの能力を養うための努力を厭わない人

〔船舶工学特別コース〕

本コースでは、学部卒業生および造船関連企業の技術者を対象に、これらの企業において中心的な役割を担い、将来の技術革新にも対応できる高度技術者を育成することを目指しています。そのため、次のような資質・素養をもった人を求めています。

1. 造船工学を学ぶために必要な基礎学力および専門知識を有する人
2. 技術者・研究者としての教養・倫理観を高め、人類の幸福や地域社会に貢献しようとする意欲のある人
3. 集団の中でリーダーシップを発揮することができるとともに、未知の課題や困難な問題に対して積極的に取り組む意欲のある人

〔物質生命工学専攻〕
〔機能材料工学コース〕

本コースでは、材料に対する感性を磨き、物質やその機能に関するより高度な理論と材料工学に関わる応用技術を学びます。さらに、社会人としての豊かな教養および技術者・研究者としての責任感・倫理観などを身につけ、社会に役立つ技術者・研究者を養成することを目指しています。そのため、次のような人を求めています。

1. 材料工学を学ぶために必要な基礎学力および専門知識を有する人
2. 責任感および倫理観を有する人
3. 学習および研究の意欲がある人

〔応用化学コース〕

本コースでは、化学のさまざまな分野での研究において、必要な基本的および専門的な方法論を習得し、最先端の研究に携わります。これによって、本コースでは化学の知識と方法を持って応用化学の発展に寄与できる研究者・技術者の育成を目指しています。そのため、次のような人を求めています。

1. 自然科学についての基本的事項を理解しており、その知識をもとにしたさらなる勉学と研究に意欲的な人
2. 化学とその応用に対する興味と探究心が旺盛で、新しい技術の開発に熱意と適性を有する人
3. 化学に関する専門的な知識と経験をもとにして、社会の中で自分を活かす気持をもち、それに向けて努力できる人
4. グローバルな視点で物事を考えることができ、化学に関する専門的な知識と経験を活かして国際社会へ貢献できる人
5. 研究者・技術者として社会に貢献するために必要な幅広い教養と倫理観を身につけた人

〔電子情報工学専攻〕
〔電気電子工学コース〕

本コースでは、学士課程で培った基礎素養の上に立って、電気電子工学関連の高度な技術と研究能力を身に付けさせ、先見性と独創性に富んだ人材の育成を目指しています。こうした教育目標を効率的に達成するため、特に次のような資質を有する人を求めています。

1. 電気・電子・情報通信工学分野の専門基礎(数学、電気系物理、英語)の知識を有する人
2. 電気・電子・情報通信工学分野の専門知識を高めることに意欲をもてる人
3. 当該分野において積極的に研究を遂行し、課題の発掘と解決に努力を惜しまない人
4. 研究成果を論理的に記述し発表する能力の修得に意欲ある人

〔情報工学コース〕

本コースでは、広い視野に立って深い学識を授け、情報工学分野における専門知識を活用する能力および同分野における研究能力を有する人材を育成することを教育の目標としています。そのため、次のような人を求めています。

1. 急速に発展している情報技術を学び研究するために必要な基礎学力と専門的知識や技能を有する人
2. 21世紀のグローバル化へ対応するために必要な能力を身につけ、国際的な視野をもった高度な技術者・研究者を目指す人
3. 幅広い分野の知識と高度な専門的知識を自発的に吸収し、自ら課題を探究できる自律的な人
4. さまざまな社会の要求を、倫理観を含めた多角的な視点から捉え、それらを解決することで社会に貢献しようと考えている人

〔ICTスペシャリスト育成コース〕

本コースでは、知識基盤社会における地域発展を支えるために、ICT(情報通信技術)の深い知見・知識・能力と幅広い知識・教養を備え、地域の自治体や企業、社会において、ICT活用による変革や創造の主導的立場を担うスペシャリストの育成を教育の目標としています。そのため、次のような人を求めています。

1. 急速に発展しているICTを学ぶために必要な基礎学力を有し、ICTの専門的スキルと知識の学習、獲得を希望する人
2. 多面的な視点から、社会における様々な事物を論ずる能力の習得に意欲のある人

〔物質生命工学専攻〕
〔機能材料工学コース〕

本コースでは、材料に対する感性を磨き、物質やその機能に関するより高度な理論と材料工学に関わる応用技術を学びます。さらに、社会人としての豊かな教養および技術者・研究者としての責任感・倫理観などを身につけ、社会に役立つ技術者・研究者を養成することを目指しています。そのため、次のような人を求めています。

1. 材料工学を学ぶために必要な基礎学力および専門知識を有する人
2. 責任感および倫理観を有する人
3. 学習および研究の意欲がある人

〔応用化学コース〕

本コースでは、化学のさまざまな分野での研究において、必要な基本的および専門的な方法論を習得し、最先端の研究に携わります。これによって、本コースでは化学の知識と方法を持って応用化学の発展に寄与できる研究者・技術者の育成を目指しています。そのため、次のような人を求めています。

1. 自然科学についての基本的事項を理解しており、その知識をもとにしたさらなる勉学と研究に意欲的な人
2. 化学とその応用に対する興味と探究心が旺盛で、新しい技術の開発に熱意と適性を有する人
3. 化学に関する専門的な知識と経験をもとにして、社会の中で自分を活かす気持をもち、それに向けて努力できる人
4. グローバルな視点で物事を考えることができ、化学に関する専門的な知識と経験を活かして国際社会へ貢献できる人
5. 研究者・技術者として社会に貢献するために必要な幅広い教養と倫理観を身につけた人

〔電子情報工学専攻〕
〔電気電子工学コース〕

本コースでは、学士課程で培った基礎素養の上に立って、電気電子工学関連の高度な技術と研究能力を身に付けさせ、先見性と独創性に富んだ人材の育成を目指しています。こうした教育目標を効率的に達成するため、特に次のような資質を有する人を求めています。

1. 電気・電子・情報通信工学分野の専門基礎(数学、電気系物理、英語)の知識を有する人
2. 電気・電子・情報通信工学分野の専門知識を高めることに意欲をもてる人
3. 当該分野において積極的に研究を遂行し、課題の発掘と解決に努力を惜しまない人
4. 研究成果を論理的に記述し発表する能力の修得に意欲ある人

〔情報工学コース〕

本コースでは、広い視野に立って深い学識を授け、情報工学分野における専門知識を活用する能力および同分野における研究能力を有する人材を育成することを教育の目標としています。そのため、次のような人を求めています。

1. 急速に発展している情報技術を学び研究するために必要な基礎学力と専門的知識や技能を有する人
2. 21世紀のグローバル化へ対応するために必要な能力を身につけ、国際的な視野をもった高度な技術者・研究者を目指す人
3. 幅広い分野の知識と高度な専門的知識を自発的に吸収し、自ら課題を探究できる自律的な人
4. さまざまな社会の要求を、倫理観を含めた多角的な視点から捉え、それらを解決することで社会に貢献しようと考えている人

〔数理物質科学専攻〕
〔数理科学コース〕

本コースでは、数学および情報科学に関する基本的知識の習得を通して、さまざまな問題に柔軟に対応できる論理的思考力や分析力、また、自分の考えを的確に表現できるプレゼンテーションなどの能力を養成し、数理科学の素養と同時に幅広い視野と社会性をもった人材の育成を目指しています。このため、以下のような資質をもった人を求めています。

1. 数理科学および英語について基礎学力を有する人
2. 数学または情報科学について興味があり、学習意欲の高い人
3. 数学や情報科学に関する知識の習得を通して社会に貢献したいという熱意のある人

〔物理科学コース〕

本コースでは物理学の基礎知識のしっかりとした習得をめざし、そのさまざまな応用を通じて柔軟な思考力と広い視野をもつ人材の育成を目的としています。そのため、次のような人を求めています。

1. 物理学の基本的な学力を持っている人
2. 学習および研究意欲の旺盛な人
3. 何事にも忍耐強く対処できる人

		3. 実践的なICTスキルと知識を活かし、多面的な視点から、地域、社会に変革をもたらし、人類の幸福や社会に貢献しようとする意欲のある人 〔数理解物質科学専攻〕 〔数理解科学コース〕 本コースでは、数学および情報科学に関する基本的知識の習得を通して、さまざまな問題に柔軟に対応できる論理的思考力や分析力、また、自分の考えを的確に表現できるプレゼンテーションなどの能力を養成し、数理解科学の素養と同時に幅広い視野と社会性をもった人材の育成を目指しています。このため、以下のような資質をもった人を求めています。 1. 数理解科学および英語について基礎学力を有する人 2. 数学または情報科学について興味があり、学習意欲の高い人 3. 数学や情報科学に関する知識の習得を通して社会に貢献したいという熱意のある人 〔物理科学コース〕 本コースでは物理学の基礎知識のしっかりとした習得をめざし、そのさまざまな応用を通じて柔軟な思考力と広い視野をもつ人材の育成を目的としています。そのため、次のような人を求めています。 1. 物理学の基本的な学力を持っている人 2. 学習および研究意欲の旺盛な人 3. 何事にも忍耐強く対処できる人 〔地球進化学コース〕 本コースは、さまざまな時空間スケールや支配法則における地球の進化やそれに関する自然現象に対する専門的知識とともに広い視野からの応用能力を通して社会に貢献できる人材の育成を目指しています。そのため、次のような人を求めています。 1. 地球の進化や歴史に強い関心を持っており、地質学的、あるいは、地球物理学的な手段でそれらを明らかにすることに熱意を持つ人 2. 野外調査、実験、モデリング、シミュレーション等の多様な研究手法を複合的に用い、自ら、課題の発掘と探究が行える人 3. 地球を舞台とする広範囲な自然現象のメカニズムとダイナミクスを解き明かすことに興味を持つ人 4. 自然環境問題や資源の確保、自然災害の軽減といった身近な社会問題の解決に貢献したいという意欲を持つ人 〔環境機能科学専攻〕 〔分子科学コース〕 本コースは、電子原子分子レベルにおける物質の性質と変化に関する高度な学識と研究開発能力を有する科学技術者または科学者を育成して社会に送り出すことを目的としています。そのための人材として、次のような人を求めています。 1. 電子原子分子のレベルでの物質間の相互作用とそのダイナミズム、あるいは、物質の機能化と組織化について強い関心を持っている人 2. 物質の微視的巨視的性質に関する知見を駆使して、新物質・新機能を発見または創成することに意欲を持っている人 3. 化学的手法などをもって人類の生存環境を分析、評価し、それを基礎にして人類社会のあり方を考え、提言することに情熱を持っている人 〔生物環境科学コース〕 分子から個体に至るさまざまなレベルの生命現象や生物と環境の関係などに強い興味をもち、以下の資質を有している人を歓迎します。 1. 多様な生命現象や生物と地球環境についての基礎的な知識をもち、論理的に考えることができる人 2. 課題をみつけ、実験や観察などを通して新しい発見や法則を導き出すことに強い関心をもつ人 3. 学術情報の取得や発信の技能を培うために必要な基礎的な語学の知識を有している人	〔地球進化学コース〕 本コースは、さまざまな時空間スケールや支配法則における地球の進化やそれに関する自然現象に対する専門的知識とともに広い視野からの応用能力を通して社会に貢献できる人材の育成を目指しています。そのため、次のような人を求めています。 1. 地球の進化や歴史に強い関心を持っており、地質学的、あるいは、地球物理学的な手段でそれらを明らかにすることに熱意を持つ人 2. 野外調査、実験、モデリング、シミュレーション等の多様な研究手法を複合的に用い、自ら、課題の発掘と探究が行える人 3. 地球を舞台とする広範囲な自然現象のメカニズムとダイナミクスを解き明かすことに興味を持つ人 4. 自然環境問題や資源の確保、自然災害の軽減といった身近な社会問題の解決に貢献したいという意欲を持つ人 〔環境機能科学専攻〕 〔分子科学コース〕 本コースは、電子原子分子レベルにおける物質の性質と変化に関する高度な学識と研究開発能力を有する科学技術者または科学者を育成して社会に送り出すことを目的としています。そのための人材として、次のような人を求めています。 1. 電子原子分子のレベルでの物質間の相互作用とそのダイナミズム、あるいは、物質の機能化と組織化について強い関心を持っている人 2. 物質の微視的巨視的性質に関する知見を駆使して、新物質・新機能を発見または創成することに意欲を持っている人 3. 化学的手法などをもって人類の生存環境を分析、評価し、それを基礎にして人類社会のあり方を考え、提言することに情熱を持っている人 〔生物環境科学コース〕 分子から個体に至るさまざまなレベルの生命現象や生物と環境の関係などに強い興味をもち、以下の資質を有している人を歓迎します。 1. 多様な生命現象や生物と地球環境についての基礎的な知識をもち、論理的に考えることができる人 2. 課題をみつけ、実験や観察などを通して新しい発見や法則を導き出すことに強い関心をもつ人 3. 学術情報の取得や発信の技能を培うために必要な基礎的な語学の知識を有している人
--	--	--	---

16. 高知大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
入学定員・編入学定員・収容定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科、年度)	(入学定員)(収容定員)	(学部、学科、年度)	(入学定員)(収容定員)
		医学部		医学部	
		医学科		医学科	
		平成22年度	107人 592人	平成21年度	100人 575人
		平成23年度	107人 609人		※ 収容定員は編入学定員を含む
		平成24年度	107人 626人		
		平成25年度	107人 643人		
		平成26年度	107人 660人		
		平成27年度	107人 667人		
		平成28年度	107人 667人		
		平成29年度	107人 667人		
		平成30年度	102人 662人		
		平成31年度	102人 657人		
		平成32年度	95人 645人		

		平成33年度	95人	633人	
		平成34年度	95人	621人	
		平成35年度	95人	609人	
		平成36年度	95人	602人	
		平成37年度～	95人	595人	
		※ 収容定員は編入学定員を含む			

17.九州大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較					
		新		旧			
学生の入学定員・収容定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科)	(入学定員)	(収容定員)	(学部、学科)	(入学定員)	(収容定員)
		医学部			医学部		
		医学科	110人	615人	医学科	105人	605人
		生命科学学科	12人	48人	生命科学学科	12人	36人
		保健学科	137人	548人	保健学科	137人	555人
		計	259人	1,211人	計	254人	1,196人
		薬学部			薬学部		
		創薬科学科	50人	200人	創薬科学科	50人	200人
		臨床薬学科	30人	150人	臨床薬学科	30人	120人
		計	80人	350人	計	80人	320人
学部総計	2,556人	10,539人	学部総計	2,551人	10,494人		
		(70人)			(70人)		
		※ ()を付したものは3年次編入学定員で外数。		※ ()を付したものは3年次編入学定員で外数。			
大学院（学府）組織の変更 学生の入学定員・収容定員の変更	平成22年4月1日	(学府、課程、専攻)	(入学定員)	(収容定員)	(学府、課程、専攻)	(入学定員)	(収容定員)
		人間環境学府		310人	人間環境学府		314人
		修士課程			修士課程		
		都市共生デザイン専攻	20人		都市共生デザイン専攻	20人	
		人間共生システム専攻	11人		人間共生システム専攻	11人	
		行動システム専攻	17人		行動システム専攻	17人	
		教育システム専攻	19人		教育システム専攻	19人	
		空間システム専攻	28人		空間システム専攻	28人	
		計	95人	190人	計	95人	190人
		博士後期課程			博士後期課程		
		都市共生デザイン専攻	5人		都市共生デザイン専攻	5人	
		人間共生システム専攻	9人		人間共生システム専攻	9人	
		行動システム専攻	10人		行動システム専攻	10人	
		教育システム専攻	9人		教育システム専攻	9人	
		空間システム専攻	7人		空間システム専攻	7人	
		計	40人	120人	計	40人	124人
		法学府		189人	法学府		185人
		修士課程			修士課程		
		法学理論専攻	72人		基礎法学専攻	12人	
		(基礎法学専攻)	—		公法・社会法学専攻	10人	
		(公法・社会法学専攻)	—		民刑事法学専攻	15人	
		(民刑事法学専攻)	—		国際関係法学専攻	16人	
		(国際関係法学専攻)	—		政治学専攻	7人	
		(政治学専攻)	—		計	60人	110人
		計	72人	122人			
		博士後期課程			博士後期課程		
		法学理論専攻	17人				
		(基礎法学専攻)	—		基礎法学専攻	6人	
		(公法・社会法学専攻)	—		公法・社会法学専攻	5人	
		(民刑事法学専攻)	—		民刑事法学専攻	7人	
(国際関係法学専攻)	—		国際関係法学専攻	4人			
(政治学専攻)	—		政治学専攻	3人			
計	17人	67人	計	25人	75人		
理学府		429人	理学府		452人		
修士課程			修士課程				
物理学専攻	41人		物理学専攻	41人			
化学専攻	62人		化学専攻	62人			
地球惑星科学専攻	41人		地球惑星科学専攻	41人			
(基礎粒子系科学専攻)	—		(基礎粒子系科学専攻)	—			
(分子科学専攻)	—		(分子科学専攻)	—			
(凝縮系科学専攻)	—		(凝縮系科学専攻)	—			
(生物科学専攻)	—		(生物科学専攻)	—			
計	144人	288人	計	144人	288人		
博士後期課程			博士後期課程				

	物理学専攻	14人		物理学専攻	14人	
	化学専攻	19人		化学専攻	19人	
	地球惑星科学専攻	14人		地球惑星科学専攻	14人	
				(基礎粒子系科学専攻)	—	
				(分子科学専攻)	—	
				(凝縮系科学専攻)	—	
				(生物科学専攻)	—	
	計	47人	141人	計	47人	164人
	数理学府		174人	数理学府		188人
	修士課程			修士課程		
	数理学専攻	54人		数理学専攻	54人	
	計	54人	108人	計	54人	108人
	博士後期課程			博士後期課程		
	数理学専攻	20人		数理学専攻	20人	
	計	20人	66人	計	20人	80人
	医学系学府		100人	医学系学府		90人
	修士課程			修士課程		
	医科学専攻	20人		医科学専攻	20人	
	保健学専攻	20人		保健学専攻	20人	
	計	40人	80人	計	40人	80人
	博士後期課程			博士後期課程		
	医科学専攻	—		医科学専攻	—	
	保健学専攻	10人		保健学専攻	10人	
	計	10人	20人	計	10人	10人
	薬学府		188人	薬学府		188人
	修士課程			修士課程		
	創薬科学専攻	55人				
	(医療薬科学専攻)	—		医療薬科学専攻	30人	
	(創薬科学専攻)	—		創薬科学専攻	25人	
	計	55人	110人	計	55人	110人
	博士後期課程			博士後期課程		
	創薬科学専攻	—				
	(医療薬科学専攻)	14人		医療薬科学専攻	14人	
	(創薬科学専攻)	12人		創薬科学専攻	12人	
	計	26人	78人	計	26人	78人
	工学府		924人	工学府		902人
	修士課程			修士課程		
	物質創造工学専攻	21人		物質創造工学専攻	21人	
	物質プロセス工学専攻	19人		物質プロセス工学専攻	19人	
	材料物性工学専攻	19人		材料物性工学専攻	19人	
	化学システム工学専攻	21人		化学システム工学専攻	21人	
	建設システム工学専攻	17人		建設システム工学専攻	17人	
	都市環境システム工学専攻	19人		都市環境システム工学専攻	19人	
	海洋システム工学専攻	17人		海洋システム工学専攻	17人	
	地球資源システム工学専攻	17人		地球資源システム工学専攻	17人	
	エネルギー量子工学専攻	25人		エネルギー量子工学専攻	25人	
	機械工学専攻	62人				
	水素エネルギーシステム専攻	30人				
	(機械科学専攻)	—		機械科学専攻	37人	
	(知能機械システム専攻)	—		知能機械システム専攻	27人	
	航空宇宙工学専攻	26人		航空宇宙工学専攻	26人	
	計	293人	558人	計	265人	530人
	博士後期課程			博士後期課程		
	物質創造工学専攻	10人		物質創造工学専攻	10人	
	物質プロセス工学専攻	9人		物質プロセス工学専攻	9人	
	材料物性工学専攻	7人		材料物性工学専攻	7人	
	化学システム工学専攻	10人		化学システム工学専攻	10人	
	建設システム工学専攻	8人		建設システム工学専攻	8人	
	都市環境システム工学専攻	8人		都市環境システム工学専攻	8人	
	海洋システム工学専攻	8人		海洋システム工学専攻	8人	
	地球資源システム工学専攻	8人		地球資源システム工学専攻	8人	
	エネルギー量子工学専攻	12人		エネルギー量子工学専攻	12人	
	機械工学専攻	19人				
	水素エネルギーシステム専攻	9人				
	(機械科学専攻)	—		機械科学専攻	15人	
	(知能機械システム専攻)	—		知能機械システム専攻	13人	
	航空宇宙工学専攻	12人		航空宇宙工学専攻	12人	
	計	120人	366人	計	120人	372人

芸術工学府	330人	芸術工学府	320人
修士課程		修士課程	
芸術工学専攻	92人	芸術工学専攻	92人
デザインストラテジー専攻	28人	デザインストラテジー専攻	28人
計	120人	計	120人
240人		240人	
博士後期課程		博士後期課程	
芸術工学専攻	25人	芸術工学専攻	25人
デザインストラテジー専攻	5人	デザインストラテジー専攻	5人
計	30人	計	30人
90人		80人	
システム情報科学府	421人	システム情報科学府	402人
修士課程		修士課程	
情報学専攻	40人	情報学専攻	40人
情報知能工学専攻	45人	情報知能工学専攻	45人
電気電子工学専攻	55人	電気電子工学専攻	55人
(情報理学専攻)	—	(情報理学専攻)	—
(知能システム学専攻)	—	(知能システム学専攻)	—
(情報工学専攻)	—	(情報工学専攻)	—
(電気電子システム工学専攻)	—	(電気電子システム工学専攻)	—
(電子デバイス工学専攻)	—	(電子デバイス工学専攻)	—
計	140人	計	140人
280人		255人	
博士後期課程		博士後期課程	
情報学専攻	14人	情報学専攻	14人
情報知能工学専攻	15人	情報知能工学専攻	15人
電気電子工学専攻	16人	電気電子工学専攻	16人
(情報理学専攻)	—	(情報理学専攻)	—
(知能システム学専攻)	—	(知能システム学専攻)	—
(情報工学専攻)	—	(情報工学専攻)	—
(電気電子システム工学専攻)	—	(電気電子システム工学専攻)	—
(電子デバイス工学専攻)	—	(電子デバイス工学専攻)	—
計	45人	計	45人
141人		147人	
総合理工学府	524人	総合理工学府	540人
修士課程		修士課程	
量子プロセス理工学専攻	37人	量子プロセス理工学専攻	37人
物質理工学専攻	37人	物質理工学専攻	37人
先端エネルギー理工学専攻	34人	先端エネルギー理工学専攻	34人
環境エネルギー工学専攻	26人	環境エネルギー工学専攻	26人
大気海洋環境システム学専攻	30人	大気海洋環境システム学専攻	30人
計	164人	計	164人
328人		328人	
博士後期課程		博士後期課程	
量子プロセス理工学専攻	14人	量子プロセス理工学専攻	14人
物質理工学専攻	14人	物質理工学専攻	14人
先端エネルギー理工学専攻	12人	先端エネルギー理工学専攻	12人
環境エネルギー工学専攻	9人	環境エネルギー工学専攻	9人
大気海洋環境システム学専攻	11人	大気海洋環境システム学専攻	11人
計	60人	計	60人
196人		212人	
生物資源環境科学府	636人	生物資源環境科学府	553人
修士課程		修士課程	
資源生物科学専攻	50人		
環境農学専攻	75人		
農業資源経済学専攻	13人		
生命機能科学専攻	106人		
生物産業創成専攻	—		
(生物資源開発管理学専攻)	—	生物資源開発管理学専攻	21人
(植物資源科学専攻)	—	植物資源科学専攻	27人
(生物機能科学専攻)	—	生物機能科学専攻	22人
(動物資源科学専攻)	—	動物資源科学専攻	19人
(農業資源経済学専攻)	—	農業資源経済学専攻	10人
(生産環境科学専攻)	—	生産環境科学専攻	17人
(森林資源科学専攻)	—	森林資源科学専攻	31人
(遺伝子資源工学専攻)	—	遺伝子資源工学専攻	14人
計	244人	計	161人
405人		322人	
博士後期課程		博士後期課程	
資源生物科学専攻	19人		
環境農学専攻	27人		
農業資源経済学専攻	5人		
生命機能科学専攻	12人		
生物産業創成専攻	14人		
(生物資源開発管理学専攻)	—	生物資源開発管理学専攻	10人

		(植物資源科学専攻)	—		植物資源科学専攻	13人	
		(生物機能科学専攻)	—		生物機能科学専攻	11人	
		(動物資源科学専攻)	—		動物資源科学専攻	9人	
		(農業資源経済学専攻)	—		農業資源経済学専攻	5人	
		(生産環境科学専攻)	—		生産環境科学専攻	8人	
		(森林資源科学専攻)	—		森林資源科学専攻	15人	
		(遺伝子資源工学専攻)	—		遺伝子資源工学専攻	6人	
		計	77人	231人	計	77人	231人
		統合新領域学府		116人	統合新領域学府		58人
		修士課程			修士課程		
		ユーザー感性学専攻	30人		ユーザー感性学専攻	30人	
		オートモーティブサイエンス専攻	21人		オートモーティブサイエンス専攻	21人	
		計	51人	102人	計	51人	51人
		博士後期課程			博士後期課程		
		ユーザー感性学専攻	—		ユーザー感性学専攻	—	
		オートモーティブサイエンス専攻	7人		オートモーティブサイエンス専攻	7人	
		計	7人	14人	計	7人	7人
		修士課程及び博士後期課程総計		4,923人	修士課程及び博士後期課程総計		4,774人
			うち修士課程	3,117人		うち修士課程	2,918人
			博士後期課程	1,806人		博士後期課程	1,856人
		システム生命科学府		238人	システム生命科学府		222人
		一貫性博士課程			一貫性博士課程		
		システム生命科学専攻	54人		システム生命科学専攻	54人	
		計	54人	238人	計	54人	222人
		医学系学府		428人	医学系学府		448人
		博士課程			博士課程		
		医学専攻	107人		医学専攻	107人	
		(機能制御医学専攻)	—		(機能制御医学専攻)	—	
		(生殖発達医学専攻)	—		(生殖発達医学専攻)	—	
		(病態医学専攻)	—		(病態医学専攻)	—	
		(臓器機能医学専攻)	—		(臓器機能医学専攻)	—	
		(分子常態医学専攻)	—		(分子常態医学専攻)	—	
		(環境社会医学専攻)	—		(環境社会医学専攻)	—	
		計	107人	428人	計	107人	448人
		一貫性博士課程並びに医学系学府医学専攻及び歯学府の博士課程総計		838人	一貫性博士課程並びに医学系学府医学専攻及び歯学府の博士課程総計		842人
		人間環境学府			人間環境学府		
		専門職学位課程			専門職学位課程		
		実践臨床心理学専攻	30人	60人	実践臨床心理学専攻	30人	60人
		法務学府			法務学府		
		専門職学位課程			専門職学位課程		
		実務法学専攻	80人	280人	実務法学専攻	100人	300人
		経済学府			経済学府		
		専門職学位課程			専門職学位課程		
		産業マネジメント専攻	45人	90人	産業マネジメント専攻	45人	90人
		医学系学府			医学系学府		
		専門職学位課程			専門職学位課程		
		医療経営・管理学専攻	20人	40人	医療経営・管理学専攻	20人	40人
		専門職学位課程総計	175人	470人	専門職学位課程総計	195人	490人

() を付した専攻は、改組により、学生募集を停止したものである。

18.長崎大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
学部の入学生定員の変更	平成21年 4 月 1 日	(学部、学科) (入学生定員) 医学部 医学科 105人	(学部、学科) (入学生定員) 医学部 医学科 100人
大学院の専攻の入学生定員の変更	平成21年 4 月 1 日	(研究科、専攻) (入学生定員) 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 62人 新興感染症病態制御学系専攻 20人 放射線医療科学専攻 8人	(研究科、専攻) (入学生定員) 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 77人 新興感染症病態制御学系専攻 24人 放射線医療科学専攻 11人
学部の入学生定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(学部、学科) (入学生定員) 医学部 医学科 120人	(学部、学科) (入学生定員) 医学部 医学科 105人
大学院の専攻の設置	平成22年 4 月 1 日	(研究科、課程、専攻) (入学生定員) 医歯薬学総合研究科 修士課程 生命薬科学専攻 36人 博士前期課程 生命薬科学専攻 0人	(研究科、課程、専攻) (入学生定員) 医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻 53人

「0人」については、学生募集を停止した専攻である。

19.北見工業大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
大学院博士後期課程の専攻の設置及び廃止、入学生定員及び収容定員の変更	平成22年 4 月 1 日	(専攻名) (入学生定員) (収容定員) 生産基盤工学専攻 3人 9人 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 3人 9人 医療工学専攻 2人 6人	(専攻名) (入学生定員) (収容定員) システム工学専攻 7人 21人 物質工学専攻 5人 15人